令和 5 年度 相模原市図書館事業評価

令和6年12月 相模原市立図書館

目次

1		稆	楔原市	5凶書館事業評価について	··· 1
II		令	和 5 年	E度図書館事業評価····································	5
	1		成果指	『標の実績値	
	2		基本的	な統計の実績値	
	3		各図書	諸館による自己点検・評価	
		3	- 1	市立図書館・図書館相武台分館	
		3	- 2	相模大野図書館	
		3	- 3	橋本図書館	
	4		内部評	P価	
	5		外部評	P価	
資	料	編	j		28
	1		第 2 次	マ相模原市図書館基本計画「第6章 計画の推進に向けて」	
	2		利用者	ドアンケート	
	3		各委員	の意見	

I 相模原市図書館事業評価について

1 図書館事業評価の目的

図書館法及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号)」に基づき、図書館の運営状況に関する評価を行い運営の改善を図るとともに、運営の状況に関する情報を積極的に提供することを目的とする。

2 相模原市図書館事業評価について

図書館事業評価の目的に基づき、第2次相模原市図書館基本計画(以下、「計画」という。)の進行管理として、毎年評価を実施する。

各図書館が自己点検・評価として、成果指標及び基本的な統計数値について検証する とともに、主な取組やその成果等を記述する。各図書館の自己点検・評価を踏まえ、全 体の内部評価及び外部評価を行い、総合的に当該年度の成果を評価する。

3 評価者について

計画の第6章に定める成果指標及び進行管理において、図書館による内部評価と図書館協議会による外部評価を実施することとしていることから、職員による内部評価を行うとともに、第三者による客観的な評価として、有識者や市民公募委員等から構成される図書館協議会から外部評価を受ける。

4 利用者アンケートについて

成果指標の一つである利用者の満足度を測定するとともに、広く利用者の意見を伺い 運営の改善等に生かすため、毎年利用者アンケートを実施する。アンケートは各図書館 及び公民館等図書室(1年に各区2室程度、交代で実施)で配布するほか、Web でも行 う。

5 評価方法について

評価内容を定性的に記述することに加え、計画の進捗状況を客観的に判断する目安として、全体の内部評価及び外部評価について、次のとおり段階評価を行う。

(令和4年度第3回相模原市立図書館協議会で承認)

(1)内部評価

成果指標の達成項目及び施策の取組状況を点数化し、双方の総合点で A~D を評価

項目	評価方法	評価及び点数		
総合評価	「成果指標の達成項目」の点数+「施策の取組状況」の点数の合計点で評価	A:目標どおりの成果が得られた (80~100点) B:概ね目標どおりの成果が得ら		
		れた (50~79 点) C: 成果は得られたが、改善の余 地がある (20~49 点) D: 成果が得られなかった (0~19 点)		
成果指標の達成項目	成果指標 10 項目に対する令 和 9 年度目標値の達成に向 け、目標値から算出した各年 度の評価基準値を設定し、達 成項目数で評価 ※実績値≧評価基準値で	A:8~10項目達成 (60点) B:5~7項目達成 (30点) C:1~4項目達成 (15点) D:達成なし (0点)		
施策の取組状況	「達成」と判断 計画に定める、4つの基本目	A:目標通り達成 (40点) B:概ね目標通り達成 (20点) C:目標以下 (10点)		

※施策の取組状況の評価について

1 基本的な考え方

- ・ 第2次図書館基本計画の構成に沿って、①主な施策→②施策の方向→③基本目標 →④取組全体の4つの過程がある。
- ・ 各過程で定量的に実施状況を測定し、最終的な点数を施策の取組状況としての 点数とする。
- ・ 各施策は単年度で完結するものではないことから、各図書館いずれかで施策に 係る事業を実施し、計画の最終年度に向けて取り組んでいると判断できた場合に 「実施」とする。

2 定量的な測定の考え方

(1) 主な施策レベル

73 の主な施策について、実施状況を点検する。

(2)施策の方向レベル

2~8つの主な施策の実施数によって実施状況を3段階で評価し、点数化する。

主な施策の実施状況	評価	配点
8割以上~10割実施	0	3
5割以上~8割未満実施	0	2
5割未満実施	Δ	1

(3) 基本目標レベル

3~5つの各施策の方向の合計点を3段階で評価し、点数化する。

各施策の方向の得点の合計	= 亚 /邢	配点
(9点~15点満点)	評価	出品
満点中8割以上~10割の得点	a	3
満点中5割以上~8割未満の得点	b	2
満点中5割未満の得点	С	1

(4) 取組全体レベル

4つの基本目標の合計点を3段階で評価し、取組全体の評価と総合点を決める。

各基本目標の得点の合計 (12 点満点)	評価	総合評価内容	総合点
10~12 点	Α	目標を達成できている	40
5~9点	В	概ね目標を達成できている	20
4点以下	С	目標を下回っている	10

(2) 外部評価

内部評価や各委員のご意見を踏まえ、内部評価の段階評価が妥当か協議し評価

A:目標どおりの成果が得られた

B: 概ね目標どおりの成果が得られた

C:成果は得られたが、改善の余地がある

D:成果が得られなかった

6 用語について

「Ⅱ 令和5年度図書館事業評価」において、事業の実施主体を表す言葉として次の 用語を用いる。

- ・ 「各図書館」: 市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館及び相武台分館の4館
- ・ 「公民館等図書室」: 23 の公民館図書室と串川ひがし地域センター図書室、青野原 図書室をあわせた 25 室
- 「全館」: 各図書館及び公民館等図書室
- ※ 上記以外で、複数の施設や個別の施設で実施した事業については、実施施設の名称を記載する。

7 図書館運営における新型コロナウイルス感染症の影響について

令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、本市においても新型コロナウイルス感染症相模原市対策本部が廃止された。

図書館では、新型コロナウイルス感染症が完全に収束していない状況を踏まえ、利用者に不安を与えないよう引き続き基本的な感染対策を実施しながら、概ね通常どおりのサービス提供を行った。図書館を訪れる来館者の数は、コロナ禍以前の水準には回復していないものの、令和2年度から徐々に増加傾向で推移している。

多为,日午这公册站口数(日	参考	:	各年度の開館日数	(日)
---------------	----	---	----------	-----

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市立図書館	259	240	291	291	292
相模大野図書館	259	240	291	291	292
橋本図書館	259	240	291	291	292
相武台分館	259	240	289	291	292
公民館等図書室	233	226	273	272	264
(25 室平均値)	233	220	2/3	212	264

- ※令和元年度・令和2年度は、令和2年3月2日から6日8日までの間臨時休館し、図書館ホームページの閲覧や予約を除くサービスを休止。
- ※令和3年度は、神奈川県への緊急事態宣言の発出に伴い、8月6日から9月30日までの間、一部サービスの提供を休止。また、相武台分館については、館内消毒のため2日間臨時休館。
- ※令和5年度は、施設の長寿命化改修工事に伴い、6月から3月まで星が丘公民館図書室が休室。

Ⅱ 令和5年度図書館事業評価

1 成果指標の実績値

※下表の各項目について

①R5 実績	令和5年度の実績値(今回の評価対象)
②R5 評価基準値	令和 5 年度の進捗状況を測るための基準となる数値
③評価基準値比	1/2
4目標値	令和9年度の最終的な目標値
⑤達成率	1/4
⑥R4 実績	令和4年度の実績値
⑦前年比	1/6

※評価基準値以上となった項目は網掛け

成果指標	①R5 実績	②R5 評価基準値	③評価基 準値比 (%)	④目標値	⑤達成率 (%)	⑥R4 実績	⑦前年比 (%)
1 市民登録率(%)	17.3	24.0	72.1	25.0	69.2	17.6	98.3
2 18 歳以下の子ど もの登録率 ¹⁾ (%)	24.1	31.8	75.8	33.0	73.0	25.1	96.0
3 新規登録者数(人)	13,278	16,043	82.8	16,200	82.0	13,388	99.2
市立図書館	2,876					2,844	101.1
相模大野図書館	2,641					2,728	96.8
橋本図書館	5,282					5,132	102.9
相武台分館	327					338	96.7
公民館等図書室	2,152					2,346	91.7
4 来館者数(人)	1,420,391	1,894,556	75.0	1,913,000	74.2	1,360,702	104.4
市立図書館	444,957					422,656	105.3
相模大野図書館	370,839					376,776	98.4
橋本図書館	604,595					561,270	107.7

^{1 「}子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条に基づき、本成果指標の対象となる子どもの年齢を「18歳以下」としている。

	成果指標	①R5 実績	②R5 評価基準値	③評価基 準値比 (%)	④目標値	⑤達成率 (%)	⑥R4 実績	⑦前年比 (%)
5	利用者の 満足度(%)	76.4	76.4	100.0	80.0	95.5	77.6	98.5
	市立図書館	73.8					77.6	95.1
	相模大野図書館	71.3					73.0	97.7
	橋本図書館	80.0					77.0	103.9
	相武台分館	80.0					73.7	108.5
	公民館等図書室	82.1					87.2	94.2
6	図書館ホーム ページの一日平均 アクセス数(件)	4,481	29,624	15.1	30,000	14.9	4,416	101.5
7	レファレンスの 受付件数 (件)	23,663	37,584	63.0	39,000	60.7	21,996	107.6
	市立図書館	8,227					7,190	114.4
	相模大野図書館	4,648					3,811	122.0
	橋本図書館	7,824					8,112	96.4
	相武台分館	2,964					2,883	102.8
8	地域資料の 蔵書数(冊)	85,527	86,510	98.9	92,500	92.5	84,512	101.2
	市立図書館	40,672					39,815	102.2
	相模大野図書館	18,781					18,916	99.3
	橋本図書館	24,639					24,365	101.1
	相武台分館	1,435					1,416	101.3
9	一般向け講座・講 演会等の参加者数 (人)	985	2,440	40.4	2,600	37.9	813	121.2
	市立図書館	550					419	131.3
	相模大野図書館	113					257	44.0
	橋本図書館	322					137	235.0
	相武台分館	0					0	
1	O 「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合(%)	66.7	72.0	92.6	75.0	88.9	68.7	97.1

2 基本的な統計の実績値(※各年度末時点の数値)

※下表の各項目について

①R5 実績	令和5年度の実績値
②R4 実績	令和4年度の実績値
③前年比	1/2

(1)市立図書館			
項目	①R5 実績	②R4 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	18	18	100.0
うち司書・司書補	7	8	87.5
資料費予算額 (千円)	20,295	46,731	43.4
図書購入費予算 額(千円)	12,269	27,757	44.2
図書購入冊数(冊)	6,190	10,714	57.8
図書受入冊数(冊)	9,447	12,873	73.4
登録者数(人)	32,467	32,979	98.4
うち市内在住者	29,894	30,310	98.6
蔵書冊数(冊)	360,675	356,305	101.2
うち一般書(冊)	276,009	272,169	101.4
うち児童書(冊)	84,666	84,136	100.6
視聴覚資料点数(点)	12,153	12,079	100.6
雑誌タイトル数	201	210	95.7
貸出点数(点)	562,981	565,600	99.5
うちー般書	319,729	324,145	98.6
うち児童書	200,766	197,061	101.9
うち雑誌	23,531	24,720	95.2
うち AV 資料	18,955	19,674	96.3
貸出者数(人)	152,620	152,418	100.1
予約受付件数(件)	109,710	106,182	103.3
インターネット 利用件数(件)	5,001	5,433	92.0
オンラインデー タベース等利用 件数(件)	104	130	80.0
複写枚数(枚)	15,136	16,231	93.3

(2)図書館相武台分館

①R5 実績	②R4 実績	③前年比 (%)
5	5	100.0
3	3	100.0
2,351	2,366	99.4
1,600	1,600	100.0
1,122	1,278	87.8
1,552	1,682	92.3
4,297	4,396	97.7
3,899	4,003	97.4
44,288	43,962	100.7
25,768	25,581	100.7
18,520	18,381	100.8
_	_	
43	46	93.5
83,227	82,738	100.6
57,261	57,141	100.2
21,550	20,979	102.7
4,416	4,618	95.6
_	_	_
25,905	25,494	101.6
20,979	20,237	103.7
1,095	1,123	97.5
_	_	_
363	347	104.6

(3)相模大野図書館

(4)橋本図書館

(3) 相俟入野凶音貼			(4) 何本)			
項目	①R5 実績	②R4 実績	③前年比 (%)	①R5 実績	②R4 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	6	6	100.0	6	6	100.0
うち司書・司書補	3	3	100.0	3	3	100.0
資料費予算額 (千円)	15,105	15,832	95.4	15,341	14,382	106.7
図書購入費予算額(千円)	10,456	11,356	92.1	11,082	10,182	108.8
図書購入冊数(冊)	4,776	6,217	76.8	4,573	5,637	81.1
図書受入冊数(冊)	6,346	7,824	81.1	6,965	8,252	84.4
登録者数(人)	30,710	31,791	96.6	49,770	50,416	98.7
うち市内在住者	27,765	28,524	97.3	36,984	37,294	99.2
蔵書冊数(冊)	303,738	303,389	100.1	316,343	316,456	100.0
うち一般書(冊)	227,111	226,818	100.1	252,145	252,161	100.0
うち児童書(冊)	76,627	76,571	100.1	64,198	64,295	99.8
視聴覚資料点数(点)	11,283	11,233	100.4	15,043	15,095	99.7
雑誌タイトル数	226	226	100.0	209	209	100.0
貸出点数(点)	390,375	414,769	94.1	446,488	452,840	98.6
うち一般書	227,840	238,170	95.7	280,364	283,409	98.9
うち児童書	131,759	144,006	91.5	127,167	127,348	99.9
うち雑誌	17,646	18,300	96.4	16,569	18,775	88.3
うち AV 資料	13,130	14,293	91.9	22,388	23,308	96.1
貸出者数(人)	114,734	120,865	94.9	151,322	150,701	100.4
予約受付件数(件)	106,402	111,432	95.5	103,458	103,508	100.0
インターネット 利用件数(件)	3,248	3,395	95.7	6,292	6,435	97.8
オンラインデー タベース等利用 件数(件)	76	112	67.9	196	189	103.7
複写枚数(枚)	11,754	11,486	102.3	15,818	17,218	91.9

(5)公民館等図書室

(6)全館

(5)公氏貼寺凶青至				_	(6) 至期		
項目	①R5 実績	②R4 実績	③前年比 (%)		①R5 実績	②R4 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	_	_	_		35	35	100.0
うち司書・司書補					16	17	94.1
資料費予算額 (千円)	7,223	7,223	100.0		60,315	86,534 [*]	69.7
図書購入費予算 額(千円)	7,134	7,134	100.0		42,541	58,029	73.3
図書購入冊数(冊)	5,219	6,621	78.8		21,880	30,467	71.8
図書受入冊数(冊)	6,328	9,030	70.1		30,638	39,661	77.2
登録者数(人)	27,420	28,371	96.6		144,664	147,953	97.8
うち市内在住者	26,842	27,766	96.7		125,384	127,897	98.0
蔵書冊数(冊)	431,406	434,215	99.4		1,456,450	1,454,327	100.1
うち一般書(冊)	246,392	248,351	99.2		1,027,425	1,025,080	100.2
うち児童書(冊)	185,014	185,864	99.5		429,025	429,247	99.9
視聴覚資料点数(点)	_	_	_		38,479	38,407	100.2
雑誌タイトル数	_	_			679	691	98.3
貸出点数(点)	707,455	742,464	95.3		2,190,526	2,258,411	97.0
うち一般書	414,787	430,948	96.2		1,299,981	1,333,813	97.5
うち児童書	277,285	296,055	93.7		758,527	785,449	96.6
うち雑誌	15,383	15,461	99.5		77,545	81,874	94.7
うち AV 資料					54,473	57,275	95.1
貸出者数(人)	223,300	229,744	97.2		667,881	679,222	98.3
予約受付件数(件)	258,387	262,811	98.3		598,936	604,170	99.1
インターネット 利用件数(件)	128	211	60.7		15,764	16,597	95.0
オンラインデー タベース等利用 件数(件)	_	_	_		376	431	87.2
複写枚数(枚)	_	_	_		43,071	45,282	95.1

[※]資料費予算額には、読書活動推進事業費の 資料費(31,400千円。電子書籍ライセンス 利用料含む)を含む。

3 各図書館による自己点検・評価

3-1 市立図書館・図書館相武台分館

(1) 成果指標の検証

【市立図書館】

- ・ 成果指標全体の状況として、新規登録者数、来館者数、レファレンスの受付件数、 地域資料の蔵書冊数は前年比で増加した。
- ・ 来館者数は 444,597 人で、前年比 105.3%と増加した。月別に見ると 8 月の 41,810 人 (前年比 110.7%) が最多で、前年比で見ると全ての月で増加している。図書館全体 の傾向と同様に、令和 2 年度以降増加傾向で推移しており、徐々に来館者が戻りつ つある。
- ・ 新規登録者数は 2,876 人で、前年比 101.1%と微増であった。年代別に前年比を見ると、7~12 歳及び 13~18 歳の年代で減少したが、それ以外の年代では増加した。
- ・ レファレンスの受付件数は 8,227 件で、前年比 114.4%と増加した。受付件数の総 数としては、令和元年度(8,268 件)とほぼ同水準であった。

月別の受付件数では、最多は8月の791件、最少は4月の468件であった(平均は686件)。月別に前年比を見ると、7月までは減少していたものの、8月以降は増加に転じた。

- ・ 一般向け講座・講演会として7つの事業を開催し、延べ550名が参加した。参加者数は前年比で131.3%と増加した。例年実施している事業で参加者数が伸びたり、コロナ禍で開催を見送っていた事業を再開したことが、参加者数の増加につながった。
- ・ 利用者の満足度は 73.8%で、前年比で 3.8 ポイント減少した。「満足」と回答した方の割合が 6.8 ポイント減少したことにより、満足度の減少につながった。

サービス別に傾向を見ると、昨年度同様「図書館へのアクセス」「職員の知識・対応」「本の品ぞろえ」の満足度が高く、「本の品ぞろえ」「AV 資料の品ぞろえ」「本等を提供するまでの時間」の「不満」「やや不満」の割合が高い傾向であった。

【図書館相武台分館】

- ・ 新規登録者数は前年比で 96.7%と減少した。新規登録者数の内訳を年代別に見ると、70歳以上、30歳代、7~12歳の順に多く、全体と比較し 70歳以上の年代が最も多いことが特徴となっている。また、前年比を見ると、子ども及び 60歳代以上の世代で微減となった一方で、その間の年代では増加したが、全体では減少となった。
- ・ レファレンスサービスの受付数は 2,964 件で、前年比 102.8%と増加した。月別の 受付件数では、最多は 9 月の 292 件、最少は 11 月の 217 件であった(平均は 247 件)。
- ・ 利用者の満足度は80.0%で、前年比で6.3 ポイント増加と、増加幅が大きかった。サービス別に傾向を見ると、「職員の知識・対応」「図書館へのアクセス」「本の品ぞろえ」の満足度が高く、「本の品ぞろえ」は前年比で22.3 ポイント増加した。他

方で、前年と同様に、「本の品ぞろえ」「AV 資料の品ぞろえ」「本等を提供するまでの時間」の「不満」「やや不満」の割合が高い傾向であったが、不満の割合は前年比で減少している。

(2) 主な取組の実施状況

【市立図書館】

- ・ コロナ禍での健康維持等、健康に係る生活課題に対する取組として、本市在住の 専門家を講師に迎え、読書普及講座「図書館で学ぶ 大人の健康エクササイズ」を 実施した。あわせて、健康をテーマとした展示「できることからはじめよう!健康 な身体づくり」を3館で実施した。講座はシニア世代の方を中心に32名が参加し た。また、展示資料は3館で延べ464回貸出された。実技を交えた講座とすること で、普段図書館を利用しない方にも関心を持っていただくとともに、健康に関する 情報提供を効果的に行い本市で目指す健康づくり推進の一助とすることができた。
- ・ 地域の魅力発見と愛着の醸成に係る新たな取組として、「相模原市の魅力再発見~ きっと見つかる!相模原のいいところ」を実施した。昨年度初めて実施した「大人 の図書館見学」に、関連展示「相模原市を知ろう」とイベント「クイズさがみはら」 を合わせた3つの取組とし、図書館の活用方法を伝えるとともに、郷土資料及び本 市ゆかりの作家の紹介や、本市の歴史や文化に関するクイズに参加していただくな ど、地域情報の発信や地域に関する理解を深める取組を推進した。
- ・ 行政支援に係る新たな取組として、議会図書室²⁾と連携し、議会図書室内の特集コーナーへの資料提供を実施した。従来から議会図書室内で展開している特集コーナーに、関連するテーマ(今回は「大都市制度」)に関する図書館の蔵書を合わせて展示することで、議会図書室の役割である議員や職員への情報提供の支援に努めた。
- ・ 子育て世代への情報支援の拡充及び利用促進を図る取組として、昨年度新設した「子育て支援コーナー」で、引き続き子育てに関する資料や子育て関連リーフレット等の情報誌を提供した。令和 5 年度末時点で 551 冊の図書を配架し、2,881 回の貸出(蔵書回転率³⁾ 5.1) と令和 4 年度よりも利用が向上しており、子育て世代への情報支援につながった。
- ・ 身近な拠点である公民館等図書室のサービス向上の取組として、中央区の公民館 図書室に市立図書館の資料を提供し、図書室での企画展示を支援した(依頼件数 8 件:231 冊提供)。令和 3 年度から実施している本取組は、依頼件数が徐々に増加し ており、図書館の蔵書を活用して公民館等図書室の蔵書を補完することで、市民に とって身近な施設における図書館サービスの向上を図ることができた。
- ・ 館内の利用環境改善の取組として、次の2つの取組を実施した。
 - ①新聞・雑誌コーナーの照度の改善

悪天候の日や夜間に「暗い」というご意見をいただいていた同コーナーに、新

² 地方自治法で市町村等の議会に設置することが義務付けられた図書室。本市では、議員の調査活動に資するため、自治体の刊行物や、地方自治・行政に関する図書などを収集・保管している。

³ 蔵書1冊当たりの貸出回数を示す指標で、貸出冊数÷蔵書冊数で求める。

たな照明を追加設置することで、利用環境の改善を図った。

②多目的トイレのサイン更新

男性用・女性用としていたサインについて、必要な方に適切な案内が行えるよう、多様な利用者を想定したユニバーサルデザインのサインに更新した。

【図書館相武台分館】

・ 子どもが読書の楽しさを知るきっかけづくりとして、読み聞かせのボランティア 団体(2 団体)との協働で「おはなし会」を開催した。また、令和 4 年度まで中止 していた、「夏の大きなおはなし会」等の季節ごとのおはなし会を再開した。

令和 5 年度は 61 回開催し延べ 531 人が参加した。令和 4 年度(49 回・334 人)と比較し、開催回数・参加者数ともに増加しており、子どもや子育て世代に身近な居場所としての役割が果たされた。

(3) 基本的な統計の検証

【市立図書館】

- ・ 貸出冊数は 562,981 冊 (前年比 99.5%)、貸出者数は 152,620 人(前年比 100.1%) と、ほぼ横ばいであった。
- ・ 児童書の貸出冊数(200,766 冊)については前年比で101.9%、10年前(平成25年度)との比較でも103.3%と増加しており、貸出冊数全体として中長期的に減少している中で、子ども及び子育て世代を中心とした児童書の利用は維持されている。
- ・ 蔵書冊数は 360,675 冊(うち開架 169,090 冊)で、前年比 101.2%と増加した。
- ・ 資料費及び図書購入費については前年比約 44%と減少しているが、これは令和 4年度にサービスを開始した電子書籍サービス及び「くるくる」としょかん」の資料購入サイクルに応じて、事業費が一旦減少したことによるものである(令和 3 年度との比較では資料費は 125.5%、図書購入費が 97.5%)。

【図書館相武台分館】

- ・ 蔵書数は 44,288 冊で、前年比 100.7%と増加した。
- ・ 貸出冊数は 83,227 冊(前年比 100.6%)、貸出者数は 25,905 人(前年比 101.6%) といずれも増加した。

3-2 相模大野図書館

(1) 成果指標の検証

- ・ 新規登録者数は、全体では前年比 99.2%と横ばいと言えるが、市立図書館をはじめとした 3 館の中で相模大野図書館だけ 96.8%と減少している。この減り幅は前年度より広がっている。
- ・ 来館者は、相模大野図書館のみ 98.4%と減少している。年間を通してみると、8月 や 12月に前年を上回る月があるものの、6月と9月の減少幅が大きかった。伊勢丹 跡地のタワーマンションの建設が遅れており、相模大野駅から直線的な経路が確保 できず、コリドー等での案内表示の設置、「季節の橋」から立体駐車場横へ降りる階 段を造設するなど、市の担当部署においても対策を講じているが、決定的な解決策 とはなっていないことがわかる。
- ・ 利用者の満足度については、前年度 73.0%であったが、今年度は 71.3%と減少している。自由意見の中などにおいて、予約した資料の提供に日数がかかるといった声が従前からあったため、予約のある新刊書は、業者委託ではなく自館で装備するなどの工夫を行い、日数短縮を図った。利用者から一定の評価は受けているものの、数字に表れなかった。
- ・ レファレンスの受付件数については、前年比 122.0%と受付件数が上昇し、持ち直している。令和 5 年度は、他県図書館からの資料の借用や、大学図書館への紹介状の発行が例年に比べ多かった。
- ・ 地域資料の蔵書数については、99.3%と、ほぼ横ばいであったが、書架の空きスペースが少なくなっており、複本を除籍せざるを得ない状況となっていることが影響しているものと考えられる。
- ・ 一般向け講座・講演会も実施については、大きく前年を下回っている。原画展のような多くの来場者を見込めるイベントがなかったためと考えられる。

(2) 主な取組の実施状況

- ・ 定例のおはなし会を年齢別に編成し、2歳から3歳までの幼児と保護者対象に毎月第1・第3水曜日、4歳から6歳までの幼児と保護者を対象に毎月第2・第4水曜日に実施した。前者は全30回実施し参加者は延べ191人と前年比63人減、後者は全21回実施し参加者は延べ81人で32人減となった。それぞれのおはなし会の実施報告書によると、令和5年度は天候に左右された点がマイナス要素となった向きもある。また、ボランティアサークルによる「サタデーおはなし会」を月3回、全30回実施し、参加者は延べ482人と前年比172人増加となっている。
- ・ 乳幼児とその保護者を対象に、「親子で遊ぼう!わらべうた会」や「絵本で子育てワークショップ」を実施し、読み聞かせとわらべうたをとおして、親子で触れあう機会の演出を、図書館の利用促進につなげる目的で実施した。前者は回数を増やして 11 回実施し延べ 89 人、後者は 8 回実施し前年とほぼ同数の延べ 143 人が参加した。

- ・ 図書館活用講座では「絵本で話そう、ゆるっと哲学」を実施した。講師には絵本編集者で絵本講座「えほんごと舎」代表の大久保徳久子氏を迎え、「三ねんねたろう」のストーリーから、参加者で「止まった人がいた場合、まわりの人はどうすればよいのか?」をテーマに哲学的な対話を行うといったものだった。ユニークな試みであり、18 人の参加があった。
- ・ 一般対象のイベントで、図書館への来館のきっかけづくりなどを目的に、「ボードゲームと出会う日」を実施した。「ワードバスケット」、「海底探検」などのボードゲームを数種類用意し、説明書を参考に自由にゲームを楽しむといった内容だった。27人参加し、小中学生13人を中心に、30代から50代まで8人の参加があった。参加のきっかけで「X(旧 Twitter)」を見て楽しみにしていたという大学生も参加した。当日の様子も、たいへん楽しそうで盛り上がっており、世代間の交流もできた。会場として、18時で閉館する4階児童フロアを使用した。参加者には、図書館を楽しい場所、サードプレイス40であると感じていただけたものと考えている。

(3) 基本的な統計の検証

- ・ 前年比で資料費、図書購入費の予算が少なくなっている。書籍の需要の低下とと もに、材料費等の高騰を反映して、書籍の価格も値上がりをしている。今後は、蔵 書冊数をキープするために、単価も意識した選書が求められる。
- ・ 蔵書数はほぼ横ばいである。前年は読書活動推進事業における児童書の購入に支えられたが、寄贈受入れが少なかったこともあり、蔵書冊数増加とならなかった。
- ・ 貸出点数が伸び悩んでいる。また、予約件数も減少している。「成果指標の検証」においても述べたが、新刊の予約本の自館装備による提供日数の短縮を図り、また、小田急線相模大野駅のペデストリアンデッキ上に返却ポストを設置し、利用者の利便性を高めたが、蔵書の回転数増加には寄与しなかったようだ。なお、返却ポストを令和5年7月20日に設置して以来、令和6年3月末までに、累計で27,365冊、1回収日あたり126.1冊の利用があった。駅前返却ポスト自体はたいへん好評で、利用冊数は増加傾向にある。因みに、令和6年4月から8月までは、1回収日あたり186.6冊と大幅に増加している。
- ・ 利用者用インターネット端末の利用が減少した。オンラインデータベースの利用が大きく後退した。端末機がタブレット型で画面が小さくなったことが影響しているのかは不明だが、画面はクリアで見やすくなっている。オンラインデータベースについては、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスには一定の利用がある。その一方で、複写枚数は増加しているので、図書館に備えてあるデジタルツールの利用には一定の需要があるものと考えられる。

⁴ 社会学者レイ・オルデンバーグが提唱した概念で、自宅でも職場でもない第3の場所を指す。

3 - 3 橋本図書館

(1) 成果指標の検証

- ・ イベントの開催や社会情勢、時節のトピックに合わせた展示による資料紹介等により、来館者数は前年比で 107.7%の 604,595 人で、新規登録者数も前年度と比較して 102.9%の 5,282 人となり、多くの利用があった。
- ・ 新規登録者数については、利便性に加えて学校の見学等の受け入れやミウィ橋本 や橋本まちゼミなどの地域との連携事業等を継続的に行うことにより、前年度比で 102.9%の 5,282 人となった。
- ・ レファレンスの受付件数は 7,824 件で前年度比 96.4%と減少した。また、平成 21 年以降継続して登録件数を伸ばしている「レファレンス協同データベース」⁵⁾では、 令和 5 年度の登録数は 46 件と積極的に登録を行い、被参照数(アクセス数)は年間 累計で 112%増の 255,623 件に上った。
- ・ 利用者満足度については前年度から 3 ポイント上昇して 80.0%となり、高い水準を保ちつつ、さらに微増している。

(2) 主な取組の実施状況

- ・ 雑誌スポンサーでもある行政書士の佐藤勝己氏を講師に招き、終活に関心のある 方を対象に「わかりやすい相続の基本と対策」と銘打った講座を開催し、相続に関 する知識を深めるとともに、図書館の資料も紹介した(参加者数:33名)。
- ・ 図書館の使い方や楽しみ方を高齢者向けに紹介する場として「シニアのためのゆるっと講座」を開催、年齢の近いスタッフが担当し好評であった。第1回目は事前アンケート結果により「書庫に潜入!昭和のお宝本!」と題して開催し、書庫で本を探したり、図書館で一番古い本を紹介したりするなど図書館の裏側を見学してもらった。募集開始後すぐに定員が埋まる盛況ぶりで、今後も継続して開催することとなった(参加者数:10名)。
- ・ 「図書館と市民をつなぐ会・相模原」との共催で毎年夏休み前に開催している 「調べるっておもしろい! 夏休み自由研究応援!ネットと本で調べ学習体験講座」を開催した。小・中学生が自分で決めたテーマを研修室の PC と図書館資料を 活用して調べ、1 枚の新聞やノート形式にまとめた(参加者数:7名)。
- ・ 橋本公民館との連携事業として、わらべうたを楽しみつつ同年代の子を持つ父母等にコミュニケーションの場を提供することにより子育て支援を行うことを目的として「わらべうたあそびと子育てサロン」を開催した。平成29年から行っている当該事業は、橋本図書館のわらべうた会のボランティアとして活動している「つくしちゃんのわらべうた」のみなさんを講師に招き、橋本公民館を会場にして行った(参加者数:親子10組22名)。土曜日に開催することで、平日の定例のわらべうた会に参加できなかった父親の参加が増え、アンケートからも親子で楽しい時間が

⁵ 国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築するレファレンス事例のデータベースで、参加図書館のレファレンス事例を記録し検索等が行える。

過ごせたようだった。

- ・ 「どなたにもやさしい本のコーナー」をより多くの方に知ってもらえるように、 デジタルサイネージを利用して広く認知してもらうための周知を行った。
- ・ 音と映像のコーナーでは「シティポップのキセキ」と題して、再注目されている 1980 年代のポップスを集めて展示し、多くの方に懐かしんでもらいつつ、新鮮に 感じる世代にも関心を持ってもらったことで、蔵書回転率は 2.0 を超えた(展示数:84点 貸出点数:延べ 169点)。
- ・ ロビープチ展示「大活字本をご存じですか?」を7月と12月に開催し、大活字本を知らない利用者に向けて資料の紹介と、どなたでも利用できることをアピールした。2回ともに175%を超える利用率で大変好評であった。
- ・ ロビープチ展示「貸出0の本」では、これまで購入以来貸出されていない本を 集め、目立つ書架に展示することで改めて手に取っていただくきっかけ作りと利用 促進を図った。「おもしろい企画だ」との声もあり、これまで利用が無かった本だ ったが、利用率は63.5%に上った(展示数:52冊 貸出冊数:33冊)。
- ・ 総合横展示「牧野富太郎植物図鑑および周辺資料展示」では、レファレンスコーナーを利用したことがない方に向けて、あえて禁帯出資料の図鑑などの参考資料にふれる機会を創出した。合わせて東京都立大学の展示リーフレットも配布するなど、幅広い資料を展示し、TV ドラマの放映時期に合わせたため、多くの方に手に取ってもらうことができた(展示数:禁帯出資料3冊ほか配布資料等)。

(3) 基本的な統計の検証

- ・ 図書購入費予算は前年比 108.8%で、市民等からの寄贈による受入も、昨年度より 112 冊多い 2,066 冊に上ったが、全体の蔵書数としては、除籍や購入図書の価格の 上昇等により若干減少している。このため、除籍についてはこれまで以上に慎重に 行う必要がある。
- ・ 市外の利用については、他市町村からの登録者 19,280 人のうち約 66.3%を占める 12,786 人が当館の登録であり、市内全体に占める貸出状況は 58.5%が橋本図書館の 利用⁶⁾となっており、利便性の高さから他市の利用者が多いことが窺える。
- ・ 貸出点数は前年度比で 98.6%、貸出者数については 100.4%と、コロナ禍が明けたにもかかわらず、昨年度とほぼ変わらない結果となった。
- ・ 県外の図書館への貸出については、前年度比で 16 件増の 157%の伸びとなり、県 外においても橋本図書館の蔵書が活用されている。

⁶ 他市町村からの登録者の貸出点数(132,280点)のうち、橋本図書館での貸出が77,398点。

4 内部評価

(1)段階評価

総合評価:B(概ね目標どおりの成果が得られた) 55 点/100 点

[総合評価の点数の内訳]

	項目及び評価	点数
1	成果指標の達成項目による評価(C)	15/60
2	施策の取組状況による評価(A)	40/40

【総合評価に対する図書館の意見】

総合評価の点数は 55 点で、昨年度と同様に B 評価となった。内訳としても昨年度と同様で、各図書館が計画に基づく施策に着実に取り組んだ一方で、成果指標については 10 項目中 1 項目の達成に留まった。

成果指標の状況として、令和2年度にコロナ禍における生活様式の変化や図書館のサービス休止等による影響で各指標の数値が大きく落ち込んだ後、来館者数等は増加傾向で回復を見せており、レファレンスサービスの件数や一般向けの講座・講演会等の参加者数など、図書館の施策が成果に結びついた部分もあると考えられる。他方で、市民登録率や新規登録者数など、図書館を利用している市民等の数に係る成果指標については減少が続いている。市人口が維持されている中で市民登録率等が減少を続けていることは大きな課題であり、生涯学習施設として幅広い年代の市民の学びを支援するため、図書館利用を促す取組を様々な視点から効果的に実施していく必要がある。

取組の一つの視点として、これまでの図書館協議会からの外部評価でも指摘されてきたように、図書館サービスの基盤となる蔵書の充実を図ることが、蔵書の利用という観点だけではなく、蔵書に基づくサービスの拡充等を図る上でも喫緊の課題と考えられる。また、電子書籍サービス等の来館や利用者登録を伴わない取組についても、現在の成果指標に結びつく要素は限られるが、市民が「本」と出合う接点として、読書や図書館利用の行動を促す点において重要である。

評価結果を踏まえ、図書館利用活性化の取組を推進し、成果指標の向上等の目標達成を図りたい。

【今後の主な取組】

- ・ 蔵書の充実及び利用促進
- ・ 中央図書館機能の確立・充実
- 市立図書館の再整備の推進
- ・ 読書活動推進事業(電子書籍、くるくるとしょかん)の推進
- ・ 図書館システムの機能充実に向けた検討
- ・ 図書館利用者の裾野を拡げる取組の推進

【評価内訳】

1 成果指標の達成項目による評価(C:10項目中、1~4項目で達成)

	達成した項目(単位)	R5 評価基準値	R5 実績値
1	利用者の満足度(%)	76.4	76.4

※未達成項目も含む成果指標全体の状況については、p.5~6「成果指標の実績値」と、p.19~22「(2) 成果 指標の検証」に記載

2 施策の取組状況による評価(A:目標どおり)

基本目標1 生涯にわたる豊かな学びを提供する図書館	評価 a(得点 3)			
「(2)施策の方向」の評価の合計点が	、13点	/ 15点(8.7割)		
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・市民の多様な読書・情報ニーズに対応する蔵書構築	0			
・資料選定の効果的な実施		①蔵書の充実		
・テーマ性のあるコーナー設置や排架・展示の工夫	0	(○4/施策数4=10割)		3
・保存機能充実に向けた検討	0			
・快適な読書環境の提供	×			
・ユニバーサルデザインに配慮した利用環境の整備	0			
・くつろいで読み聞かせができるスペースや学習スペースの確保	×	②利用環境の充実		
・Wi-Fiによるインターネット環境の提供	0	(○3/施策数6=5割)	0	2
・飲食のできるスペースの検討 ×		(CS) NEWSXO – SEI)		
・ICTを活用しながらグループでの学習や話合いができる				
など多様な活動に対応できるスペースの検討				
・公民館等図書室の利用促進に向けた資料選定等の支援	0			
・公民館等図書室への図書館が所蔵する資料の配本や				
配送システムの充実の検討		③より身近な図書館サービスの提供		2
・公民館等の図書室職員の研修会等の実施	0	【(○3/施策数4=7.5割)		
・図書館サービスが十分行き届いていない地域への対応	×			
として、図書の受取や返却ができる場所の検討	<u> </u>		-	
・各世代のニーズに対応したサービス展開	0	 ・④多様な利用者に向けたきめ細かい		
・障害のある方の利用機会の充実	0	サービスの充実	0	3
国際化に対応した資料や利用環境の整備 (○4/施策数4=10割)		(○4/施策数4=10割)		
・図書館・図書室への来館(室)が困難な方に向けた貸出サービスの検討	0		<u> </u>	
・オンラインデータベースやインターネット上の情報				
資源を活用した情報提供の充実 ・電子書籍の導入に向けた検討		。 ⑤ICTを活用したサービス向上		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	(○4/施策数4=10割)	0	3
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ļ <u> </u>	-		
・ICタグの導入など先端技術を活用したサービスの検討				

基本目標1の取組状況の概要(施策の方向別)

- ①各図書館等で蔵書の充実に努めるとともに、それを生かした展示やサービスの展開を図った。また、「中央図書館機能基本方針」の策定の中で、蔵書保存機能を検討した。
- ②施設修繕等により現施設で実施可能な一部の取組を行った。「快適な読書環境の提供」など実施できて いない項目については、施設整備等の機会を捉えて更なる充実を図りたい。
- ③公民館等図書室への日常的な支援に加え、市立図書館における公民館図書室の企画展示への支援の取組や、図書室職員等への認知症をテーマとした研修を実施した。図書の受取や返却ができる場所の検討については、中央図書館機能において今後検討していく。
- ④各世代等のニーズに対応した資料の収集・提供や展示・イベントの実施など、多様な利用者に向けた取組を各図書館で実施した。また、来館が困難な方に向けた貸出サービスとして電子書籍サービスを提供した。
- ⑤次期図書館システム更新に向け IC タグ導入等の研究・検討を開始した。また、本市のデジタルアーカイブ推進事業の検討に参加した。

基本目標 2 市民や地域に活力を与える図書館	評価 a(得点 3)			
「(2)施策の方向」の評価の合計点が、12点/12点(10割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・レファレンスサービスの充実	0			
・ライフステージに寄り添った情報提供の充実	0			
・社会問題に対応した情報提供の充実	0	①課題解決支援の充実		3
・ビジネス支援の充実		(○6/施策数6=10割)		3
・情報活用能力向上の支援	0	0		
・市内・近隣大学との連携	0			
・健康・福祉・産業振興・多文化共生などの施策との連携による情報提供	0	②行政テーマと連携した情報提供・発信	0	
・市職員に対する情報提供	0	(○2/施策数2=10割)		3
・地域資料の積極的な収集・整理・保存	0	③地域資料の収集・活用・継承	0	
・地域資料の情報発信や活用推進	0	(○2/施策数2=10割)		3
・いきいきした暮らしや新たな関心につながる講座・講演会等の実施	0			
・世代間など多様な交流の機会・場の提供		⑥本や人との出会い、交流の創出 (○1/施策数3 = 6.6割)	0	3
・自己実現や地域活性化に資するボランティア養成・支援	0			

基本目標 2 の取組状況の概要 (施策の方向別)

- ①ビジネス支援や医療・健康情報、子育て支援など、市民の生活課題に資する資料の収集と提供を実施した。また、相模女子大学、桜美林大学と連携し、学生による企画展示を実施した。
- ②各図書館において、関係各課の依頼を受け市の施策の啓発展示を行うとともに、人材育成課や議会図書室への資料提供を通じた情報提供を実施した。
- ③地域資料を着実に収集・保存するとともに、博物館と連携した企画展示や、橋本図書館で実施した共催事業「ウィキペディアタウン in さがみはら@さがみはら」などの取組により地域情報を発信した。
- ④各図書館で講座・講演会を実施したほか、相模大野図書館の「こどもとしょかんまつり」、「ボードゲームと出会う日」など、参加者同士の交流につながる機会を提供した。また、3館連携でおはなしボランティア養成講座を実施し、新たな読み聞かせ団体の活動開始につながった。

基本目標3 子どもが読書を楽しみ「生きる力」を育む図書館	評価 a(得点 3)			
「(2)施策の方向」の評価の合計点が、9点/9点(10割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・子どもにとって身近な施設である公民館等図書室の利用促進				
・児童書及び青少年向け資料の充実	0			
・子ども向けレファレンスサービスの充実	0			
・中学生・高校生の活動支援・居場所づくり	0	 ①子どもが読書にふれあう機会の充実		
・電子書籍の導入検討	0	(O8/施策数8=10割)	0	3
・障害のある子どもが利用しやすい資料の充実及び読書環境の整備・拡充	0	(CC) MANICAGE TOLLS		
・外国につながりのある子どものニーズに合った資料及びPRの充実	0			
・子ども資料団体貸出制度の活用促進に向けた配送方法の検討など学校等関係機関との連携強化	等関係			
・おはなし会やブックトーク等事業の実施・充実				
・親子等で楽しめる読書環境の整備・拡充	0	②読書の楽しさを伝えあう取組の推進 (〇7/施策数7 = 10割)	0	3
・中学生・高校生を対象とした事業の拡充	0			
・子ども読書の日や読書週間等を捉えた普及啓発イベントの開催	0			
・図書館ホームページ等による読書活動に関連する情報発信	0			
・学生ボランティアの事業への参画	0			
・学生ボランティアとの協働による青少年向けコーナーの充実				
・読み聞かせ講座の実施など保護者に対する読書活動への理解の促進	0			
・保護者向け読書情報など家庭における読書活動への支援		子どもの読書応援隊の支援		
・ボランティアとの協働によるおはなし会等の事業の開催		- 丁こもの読音心接例の文接 - (05/施策数5=10割)	0	3
・ボランティア養成等の各種講座の開催	0	(30) 201		
・ボランティア団体の活動情報の集約及び情報提供	0			

基本目標 3 の取組状況の概要(施策の方向別)

- ①児童書及び中高生世代向けの資料の充実や、電子書籍貸出サービスや「くるくる としょかん」の実施、展示等による児童書の情報発信により、子どもや子育て世代の読書環境や機会の充実を図った。また、LL ブックや布絵本、外国語絵本など、子どもたちの様々な読書の形に応じた資料の収集・提供を行った。
- ②おはなし会やわらべうた会、ブックトークなどの本の楽しさを伝える取組や、近隣大学等の学生参加による展示等の取組を実施した。
- ③各図書館でボランティア団体の協力を得ておはなし会等を実施するとともに、おはなしボランティア 養成講座により、子どもの読書を応援する保護者やボランティアの支援を行った。また、地域情報誌の 「タウンニュース」での年齢別絵本の紹介や、相模大野図書館の「TLC いっぱいの絵本リスト」、橋本 図書館の子育て情報誌「SMILE LETTER」などにより、保護者への読書情報の提供を実施した。

基本目標4 将来にわたり進化し続ける図書館	評価 a(得点 3)				
「(2)施策の方向」の評価の合計点が、8点/9点(8.9割)					
(1) 主な施策	実施	(2)施策の方向	評価	得点	
・社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応した全市的サービスの企画・推進	0				
・資料の収集・保管の統括及び本市図書館全体を捉えた資料構築	×				
・図書館ネットワーク(電算システム・配送)の管理・運用	0	 ・①中央図書館機能の確立・充実			
・関係機関、団体等との全市的な連携の推進	0	(〇4/施策数6=6.7割)	0	2	
・充実した資料群、設備、専門的人材による、多様化、高度化するニーズに	×				
対応したサービスの提供と地域図書館や公民館等図書室の支援					
・中長期的な視点による専門的な人材の確保・育成	0				
・地域の特性やニーズ、課題に応じたサービスの充実	0				
・地域の情報拠点として市民の学びと暮らしを支える幅広い情報を提供		②地域図書館における地域に根差した			
・近隣の学校や地域団体、ボランティアと連携した事業展開	0	サービスの充実	0	3	
・生涯学習の機会、交流・発表の場の提供	0	(○5/施策数5=10割)			
・地域におけるサードプレイスとしての役割	0				
・市民・関係機関・団体との連携・協働の推進	0				
・図書館事業評価の実施と図書館サービスへの反映	0				
・民間活力の効果的な活用による図書館サービスの向上	0				
・ホームページやSNSなどにおける効果的な情報発信など		③効果的・効率的な図書館運営		١,	
図書館プロモーションの推進		(○7/施策数7=10割)		3	
・図書館、視聴覚ライブラリーの資料及び提供サービスの一体化の推進	0				
・専門的職員の計画的な確保・充実					
・図書館職員研修の充実	0				

基本目標 4 の取組状況の概要(施策の方向別)

- ①中央図書館機能の確立・充実の取組として「中央図書館機能基本方針」を策定した。実施できていない項目については、「中央図書館機能基本方針」を基に今後取組を進めて行く。また、図書館ネットワークのうち図書館システムの運用について、システム更新に向けた新たな機能の研究・検討を開始した。また、専門的な人材確保の取組として、市として司書専門職の採用試験を実施した。
- ②地域図書館(市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館)において、各地域の特性やニーズの把握に努め、蔵書による幅広い情報提供を実施した。また、ボランティアや近隣の学校等とも連携を図りながら、生涯学習の機会の提供を図るとともに、参加者同士の交流につながる事業を実施した。
- ③効果的・効率的な図書館運営を行うため、令和4年度事業の評価を実施し、成果や課題を確認し、今後の取組への活用を図った。民間活力の効果的な活用については、専門事業者による窓口等業務等委託を3館で行っており、利用者アンケートでは職員対応について満足度が高いなど、一定の評価を得ている。
 - 図書館、視聴覚ライブラリーの一体化については、市立図書館の再整備と合わせて検討した。また、職 員研修に図書館職員向けに研修を実施し、基本的な知識や新たな知見の習得に努めた。

(2)成果指標の検証

【各指標の検証】

①全体の傾向

- ・ 成果指標のうち、令和 5 年度の評価基準値を上回った項目は 1 項目(利用者の満足度)で、昨年度と同様であった。
- ・ 前年比では、10項目の成果指標のうち、来館者数などの5項目で増加した。
- ・ 令和 9 年度の目標値から達成率を見ると、利用者の満足度など 4 項目では 80%を超 え、目標達成に少しずつ近づいている。他方で、減少傾向にある市民登録率、新規登録者 数や、目標値から乖離したまま推移している図書館ホームページの一日平均アクセス件 数など、残り 6 項目では達成に向けた課題が大きい状況である。
- ・ 成果指標達成に向けては様々な取組が必要である。利用者アンケートや市政モニター の結果も踏まえ、現在の図書館利用者の利用を維持する視点に加え、現在は図書館を利 用していない方に、新たな利用者として活用していただく視点での取組を考え、実施し、 効果を検証するサイクルを繰り返し、多くの市民が活用する図書館を目指したい。
- ・ コロナ禍の影響を大きく受けている項目についても、自然回復を待つのではなく、新 たな生活様式に対応したサービス等を検討し、実施したい。

②市民登録率(17.3%)

- ・ 評価基準値(24.0%)を下回り、前年比でも0.3 ポイント減少した。
- ・ 市内在住の登録者数の累計は 127,897 人で、前年比 98.0%(2,513 人減)となったことで、市民登録率も減少した。比較可能な平成 26 年度からの推移を見ると、令和元年度に減少に転じ、それ以降は減少が続いている。新規登録者の減少に加え、既に登録している方が定着せず、更新期間を過ぎて減少している。
- ・ 減少の一因としてコロナ禍の生活様式の変化の影響は見られるものの、市人口が維持されている中で図書館を利用する市民が減少を続けていることは大きな課題である。

③18歳以下の子どもの登録率(24.1%)

- ・ 評価基準値(31.8%)を下回り、前年比でも1.0ポイント減少した。
- ・ 18歳以下の子どもの登録者数が前年比94.5%(1,475人減)となったことで、登録率も減少した。なお、同年代の市人口は前年比98.2%であり、人口に比べ登録者の減少率がやや高い状況が続いている。
- ・ 年代別に登録者数の前年比を見ると、0~6歳は令和元年度から増加傾向にあり、今年度も 103.1%と増加した。7~12歳と 13~18歳の年代については昨年度と同様減少し、 13~18歳については新規登録者数が増加したものの、累計の登録者数では 91.4%と最も減少が大きかった。

④新規登録者数(13,278人)

· 評価基準値(16,043人)を下回り、前年比では99.2%とほぼ横ばいであった。

- ・ コロナ禍で大きく減少した令和 2 年度(10,565 人)との比較では 125.7%と徐々に回復しているが、中長期的には減少傾向にあり、10 年前(平成 25 年度・20,501 人)との比較では、64.8%となっている。
- ・ 年代別に見ると、19~29歳、30歳代、40歳代の順に多く、次いで小学生世代が多い。この傾向は続いており、大学生世代の転入など、ライフスタイルの変化による新たな登録が多いことが推測される。ただし、本市の人口動向として就職や住宅購入世代の転出超過の傾向が見られることから⁷⁾、登録者として定着には至らない場合も多く、登録者全体の減少につながっていると考えられる。

⑤来館者数(1,420,391人)

- ・ 評価基準値(1,894,556人)を下回り、前年比では104.4%と増加した。
- ・ コロナ禍で大きく減少した令和 2 年度(1,111,567 人)との比較では、127.8%と徐々に回復しているが、相模大野については、図書館へのアクセス経路変更をせざるを得ない 状況となっていることから、令和 3 年度に増加した後再び減少に転じている。
- ・ 中長期的には減少傾向にあり、10年前(平成25年度・2,111,038人)との比較では、67.3%となっている。図書館別に見ると、市立(83.4%)、相模大野(55.7%)、橋本(66.3%)であり、市立の減少幅が相対的に小さく、相模大野の減少幅が相対的に大きい。

⑥利用者の満足度(76.4%)

- ・ 評価基準値と同値で、目標を達成した。前年比では 1.2 ポイント減少している。
- ・ 令和 2 年度からの 4 年間では、令和 9 年度の目標値(80%)に近い 75%前後で推移している。
- ・ 利用者アンケートで各サービス別の傾向を見ると、「職員の対応」と「図書館へのアクセス」の 2 項目で重要度・満足度ともに高い傾向が続いており、総合的な満足度にもつながっていると考えられる一方で、「図書の品ぞろえ」「本等を予約してから提供するまでの時間」「図書館ホームページの見やすさ」などは不満の割合が高く、基本的な資料提供サービスに係る項目に課題がある。
- ・ 図書館と公民館等図書室との比較として、総合的な満足度は公民館等図書室が高いが、「図書の品ぞろえ」の不満の度合いは公民館等図書室が 20 ポイント以上高く、図書の更新が不十分で、開架新鮮度⁸⁾が低い状況を反映していると考えられる。

⑦図書館ホームページの一日平均アクセス件数(4,481件)

・ 評価基準値(29,624件)を大幅に下回り、目標値と大きな乖離がある。前年比では 101.5%とやや増加した。対象となるトップページへのアクセス数は、令和2年度以降4

^{7 「}未来へつなぐ さがみはらプラン〜相模原市総合計画〜」序論の「【3】社会増減の動向」による。https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/index.html(令和6年9月29日最終確認)

⁸ 市民が直接利用できる開架書架にある蔵書の冊数に占める、新しく受け入れた蔵書の割合のこと。

千件台で推移しており、変化はあまり見られない。新たにホームページを使う方が増えていないことと、既に利用されている方の利用として、資料検索ページへの直接アクセスが主体であることが考えられる。

- ・ 資料検索ページへのアクセス⁹は一日平均 95,714 件で増加傾向が続いており、図書館 ホームページ自体の利用は維持されている。
- ・ 利用者アンケート等においては、図書館ホームページの機能のうち資料検索などの WebOPAC への意見が相対的に多いことから、図書館システム更新等の機会を捉え改善を 図る必要がある。

⑧レファレンスの受付件数(23,663件)

- ・ 評価基準値(37,584件)を下回り、前年比では107.6%と増加した。令和9年度の目標値の6割程度の達成率に留まっている。
- ・ コロナ禍で大きく減少した令和 2 年度(21,170 件)との比較では、111.8%と徐々に回復している。コロナ禍以前は減少傾向にはなく、増減をしながらも一定数を維持していたことから、コロナ禍の生活様式の中で、来館とサービス利用が難しくなった状況が要因で件数が大幅に減少したと考えられる。来館者の回復傾向と合わせ利用動向を見ながら、サービス活用のための施策を検討・実施する必要がある。
- ・ レファレンスサービスの基盤となる参考図書の蔵書数は 61,287 冊で、10 年前との比較では 103.3%と増加しており、必要な蔵書を着実に蓄積できている。

⑨地域資料の蔵書数(85,527冊)

- ・ 本市の行政資料を中心に収集し前年から 1,015 冊増加したが、評価基準値(86,510 冊) をやや下回った。
- ・ 令和9年度の目標値の9割以上に達しており、着実な収集が実施できている。他方で、 長らく保存スペースの不足が課題となっており、今後の充実には、保存スペースの確保 が必須である。

⑩一般向け講座・講演会等の参加者数(985人)

- ・ 評価基準値(2,440件)を大きく下回り、令和9年度の目標値の4割程度に留まっている。令和2年度にコロナ禍で講座・講演会等が実施できず0件となったところから、コロナ禍以前の水準には回復できていない。
- ・ 令和 3 年度以降に講座・講演会を再開してからは徐々に増加傾向で推移しており、例 年実施していた事業の利用者が増加したり、新たな事業を実施したりすることで、前年 比では 121.2%と増加した。
- ・ 子どもを対象とした事業と比較すると、実施事業や頻度が少ないことが課題であり、 図書館の新たな利用を促す意味でも、実施事業の充実を図りたい。

⁹ 資料検索ページの検索条件入力画面のアクセス数。

①【「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合(66.7%)

- ・ 評価基準値(72.0%)を下回り、前年比でも2ポイント減少した。令和9年度の目標値(75.0%)8割以上の達成率となっている。
- ・ 本市の第3次子ども読書活動推進計画において横断的に取組を進めており、図書館においては令和4年度から小・中学生全員に向けて電子書籍貸出サービスを開始し、図書館利用とは別の形でも、読書の楽しさを伝える取組を継続している。

(3)主な取組について

1 中央図書館機能基本方針の策定

第2次相模原市図書館基本計画の基本理念である「人とまちの未来を育む図書館」の実現に向けて、同計画で定めた基本目標4・施策の方向①「中央図書館機能の確立・充実」に基づき、中央図書館機能の確立を具体化するための基本方針を策定した。

2 電子書籍サービスの実施

ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据え、身近なスマートフォンやタブレット端末等から Web サイト上で電子書籍を利用することができるサービス(電子書籍サービス)を提供することにより、図書館の非来館型サービスを拡充した。

また、学校での学習活動や児童生徒の自宅等での学習に当該サービスを活用することができるよう図書館と学校が連携して取組を実施することにより、1 人 1 台端末等の ICT 環境を活用した「新しい学び」を推進した。

【電子書籍サービスの利用状況】

ア.利用者数(実人数)

(単位:人)

小学生	中学生	一般	合計	
9,320	1,103	552	10,975	

イ.延べ閲覧回数 (単位:回)

小学生	中学生	一般	合計	
189,677	25,053	6,493	221,223	

3 くるくる としょかん (子ども読書資料循環制度) の実施

子どもがより多くの本に出会い、気軽に本に触れられるよう、図書館職員が選んだ絵本 や紙芝居等の「おすすめ児童書セット」を、定期的に子どもの身近にある施設の間で循環 させる取組(「くるくる としょかん」(子ども読書資料循環制度))を令和 4 年 9 月から開始した。

令和 5 年度は、市立の子ども関連施設 118 箇所(保育園、認定こども園、児童クラブ、こどもセンター、児童館、児童相談所及び陽光園)を対象に、1 セット 30 冊の児童書を入れたコンテナを 2 ヶ月ごとに循環した。

【くるくる としょかんの実施状況】

施設区分	施設数		循環実績
保育園・こども園	24	延べ 144 回	5月、7月、9月、11月、1月、3月(2か月ごと)
児童クラブ	44	延べ 264 回	5月、7月、9月、11月、1月、3月(2か月ごと)
こどもセンター	24	延べ 144 回	5月、7月、9月、11月、1月、3月(2か月ごと)
児童館・児童室	24	延べ 144 回	5月、7月、9月、11月、1月、3月(2か月ごと)
児童相談所	1	延べ4回	4月、7月、10月、1月(3か月ごと)
陽光園(療育センター)	1	延べ3回	6月、10月、2月(4か月ごと)
合計	118	延べ 703 回	

4 相模大野駅前に図書返却ポスト設置

相模大野図書館では、令和5年7月20日から、市民要望が多かった駅前図書返却ポスト を相模大野駅北口ペデストリアンデッキ上に設置した(累計27,365冊の利用)。

5 地域の学校と連携した読書活動

相模大野図書館では、相模女子大学中学部・高等部、県立相模原中等教育学校、県立神奈川総合産業高等学校の図書委員会と連携し、幼児から小学校低学年までを主な対象とした「こどもとしょかんまつり」を開催した(連携校生徒 19 人 参加者数延べ 238 人)

6 高齢者向け事業の取り組み

橋本図書館では、高齢者向けのイベント初の試みとして事前に館内でシール投票を実施し、要望が多かった書庫見学を含む「シニアのためのゆるっと講座」を開催した。実施後のアンケートでは、図書館主催のイベントに期待する旨の様々な回答があった(参加者数 10人)。また、例年人気の「終活セミナー」について、会場を変更し定員を増やして開催した。受講者募集初日に定員に達したほか、受講当日も活発な質疑応答があり、受講者の関心の高さが伺えた(参加者数 33 人、関連資料貸出 10 冊)。

(4)基本統計の検証

【蔵書に関する統計】

- ・ 資料費予算額は60,315 千円(前年比69.7%)、図書購入費予算額は42,541 千円(前年比73.3%)と減少した。減少理由として、令和4年度に開始した電子書籍サービスと、「くるくるとしょかん」における資料購入サイクルに応じて事業費が一旦減少したことによる。
- ・ 蔵書冊数は 1,456,450 冊で、前年比 100.1%とほぼ横ばいであった。蔵書の保存スペース が限界を迎えている中で、平成 29 年度の 1,458,403 冊をピークにそれ以降は増減を繰り返 しており、ここ 10 年間で市民一人当たりの蔵書冊数は 2.0 冊のまま推移している。
- ・ 図書購入冊数は、21,880 冊(前年比 71.8%)で、書籍の平均価格上昇も影響し、ここ 10 年間で最も少ない冊数となった(最多が令和 4 年度の 30,467 冊。平均は 26,144 冊)。出版 点数がある程度維持されている中で、蔵書の更新が十分でなく開架新鮮度が低いことが利 用減少の一因と分析しており、引き続き資料費の確保と蔵書の充実に努めるとともに、開

架新鮮度の向上には開架書架から移動する蔵書の保存スペースも必須であることから、市立図書館の再整備等の取組により、保存スペースの確保にも長期的に取り組んでいく。

また、利用者アンケートに見られたように、公民館等図書室での「本の品ぞろえ」の不満の度合いが高いことから、図書館だけではなく、身近な拠点である公民館等図書室も含め、開架新鮮度の向上を図る必要がある。

【利用者に関する統計】

- ・ 登録者数は 144,664 人で、前年比 97.8%と減少した。比較可能な平成 26 年度以降減少傾向が続いており、平成 26 年度の 190,939 人から約 4万6千人減少している。新規登録者数の減少に加え、既に登録している利用者が定着せず、有効期限切れによる減少が多く発生していることが、登録者の減少につながっている。
- ・ 登録者の年代別構成比の特徴として、少子高齢化の社会状況を受け、70歳以上はほぼー 貫して増加傾向にあり、令和5年度は構成比が16.9%と最も高くなった。また、大学生世 代の転入超過の傾向からか、橋本図書館を中心に19~29歳の年代が一貫して高く、令和5 年度は16.1%であった。
- ・ 比較可能な平成 26 年度から登録者数の推移を見ると、令和 5 年度は 6 歳以下(114.9%)、50 歳代(101.4%)、70 歳以上(132.0%)の年代で増加しており、他の世代では概ね平成 26 年度比で 60~70%程度と減少している。この傾向は人口増減の動向に概ね沿っているが、6 歳以下は人口減少にもかかわらず登録者は増加傾向で推移しており、乳幼児及び子育て世代へのサービスに一定の効果があったものと考えられる。

【蔵書の利用に関する統計】

- ・ 貸出点数は 2,190,526 点(97.0%)、貸出者数は 667,881人(98.3%)、予約受付件数は 598,936 件(99.1%)と、いずれも前年比で減少した。
- ・ 貸出点数は平成 21 年度(3,510,574 点)をピークに減少を続けている。10 年前の平成 25 年度(2,960,289 点)との比較では約 77 万点減少した。資料種別に見ると、視聴覚資料が平成 25 年度比で 34.3%と著しく、次いで雑誌(65.2%)、一般書(74.2%)、児童書(81.6%)の順となっている。
- ・ 視聴覚資料の著しい減少は、オンデマンド配信等の進展により映像や音楽(音声)作品を享受する環境が大きく変化したことに加え、購入点数や発売点数自体の減少もあり、蔵書の更新や充実が思うように図れていないことや、予約ができない利便性の低さが原因と考えられる。読書バリアフリーの観点では、活字以外の読書支援も重要であり、図書館向けの視聴サービスなど新たなサービス形態も含め、今後のあり方を検討する必要がある。
- ・ 児童書については相対的に減少幅が小さく、市立図書館では中長期的に見てやや増加するなど、子どもや子育て世代のニーズが一定数維持されていることが分かる。
- ・ 貸出点数を年代別に見ると、70歳代以上が約55万点で最も多く、次いで40歳代、50歳代、60歳代の順となっている。また、分類別に見ると、一般書の文学、絵本、児童書の文学、一般書の社会科学の順となっている。
- ・ 蔵書の利用については、より多くの市民が、蔵書をそれぞれの目的に沿って活用できることを目指していく。それには、現在の利用状況を分析しニーズを把握することに加え、 未利用者も含め広く市民や地域のニーズを掘り起こすような蔵書構築を行う必要がある。

5 外部評価

(1)段階評価

総合評価:C(成果は得られたが、改善の余地がある)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況から回復傾向にあることは評価したい
- ・ 成果指標の達成状況に鑑みて何らかの対応を行う必要がある

(2)総評

相模原市立図書館協議会は、令和 5 年度相模原市図書館事業評価(案)を熟読して、 令和 6 年度第 2 回相模原市立図書館協議会で確認した評価枠組みに基づき、相模原市立 図書館による内部評価手続きが適切に行われていることを確認した。

令和 5 年 5 月に COVID-19 が感染法上の 5 類感染症に移行することとなり、社会的混乱はある程度治まっている。図書館の利用も回復傾向にあり、その点は評価したい。また、「くるくるとしょかん」は令和 4 年度事業評価でも肯定的に評価されたが、今年度も複数の委員から肯定的な意見が寄せられている。

さて、この事業評価は、内部評価と外部評価から成り立っている。両者は異なる観点から行われている。内部評価は、図書館自身が成果指標の達成項目数と施策の取組状況からそれぞれ数値を算出し、得点の合計により総合評価を行っている。これに対して図書館協議会による外部評価は、内部評価を踏まえて検討は行うが、内部評価とは異なる観点・視点に立って総合評価を行っている。今年度の協議会が着目しているのは、成果指標の達成状況である。

改めて成果指標の達成状況を見ると、令和5年度は、令和4年度と比較して微減が5項目、微増が4項目、大幅増が1項目となっている。つまり、前年度との比較においては、現状維持ないしは若干の改善と見ることができる。しかし、第2次基本計画に基づく令和5年度の評価基準値との比較となると、達成は1項目のみとなっている。なお、このような傾向は令和4年度でも見られる。

図書館員の取り組みについては満足度調査、協議会委員の意見、いずれも肯定的である。これらを総合すると、職員は与えられた条件の中で最善は尽くしているものの、第2次基本計画の目標の達成は芳しくない状況にある。このことは、COVID-19による影響もあるが、現状の予算・施設・職員数といった基本的な資源の不足が原因となっていると考えるべきであろう。なお、図書館に関する先行研究では、図書館利用に蔵書規模が大きく影響するとされていることを指摘しておく。快適さや利便性を備えた施設で新着資料が書架で目立つ状況でなければ多様な利用者を引き付けるのは難しい。成果指標の達成には図書館へのさらなるリソースの投入が必要条件である。

以上の点を踏まえて、図書館協議会は図書館の努力と一定の成果は認めるが、総合評価は成果指標の達成状況を重視して(1)の通り評価した。なお、成果指標の扱いについて社会の変化を踏まえて再検討を行うことを勧める意見が協議会の中で寄せられたことも明記しておく。また、資料編には、各協議会委員から寄せられた意見を整理して掲載している。多方面への意見が寄せられており、参考にしていただければ幸いである。

資料編

資料編

1 第2次相模原市図書館基本計画「第6章 計画の推進に向けて」

1 成果指標

	以未怕保						
		指標	単 位	現状値	目標値 (令和9年度)	指標の説明	主に対応する 基本目標
		登録状況					
1		市民登録率	%	22.7	25.0	図書館サービスの 向上により市民の 図書館利用がどの 程度促進されたか 測る指標	1 • 2 • 3 • 4
		18歳以下 の子どもの 登録率	%	30.4	33.0		3
		新規 登録者数	人	15,839	16,200		1 • 2 • 3 • 4
2	来	館者数	人	1,870,491	1,913,000		1 • 2 • 3 • 4
3	利度	用者の満足	%	71.8	80.0	利用者のニーズに どの程度応えてい るか測る指標	1 • 2 • 3 • 4
4	$^{\circ}$	書館ホームージの一日均アクセス	件	29,230	30,000	インターネットに よるサービスや情 報提供がどの程度 活用されているか 測る指標	1 • 2 • 3 • 4
5	の	ファレンス 付件数	件	35,870	39,000	市民や地域の課題 解決にどの程度貢献しているか測る 指標	2•4
6		域資料の 書数	₩	79,010	92,500	本市に関する資料 の収集が十分に行 われているか測る 指標	2•4
7	講	般向け 座 • 講演会等 参加者数	人	2,243	2,600	市民に生涯学習の 機会をどの程度提 供しているか測る 指標	2
8	で質まて答	読書は好き すか」という 問に「当ては る」、「やや当 はまる」と回 した小・中学 の割合	%	69.0	75.0	子どもの読書への関心を測る指標	3

[※]市立図書館の再整備の際には目標値の見直しを検討する。

[※]現状値について、指標の1~3、5~7は平成30年度。4及び8は令和元年度。

2 進行管理

この計画を着実に推進するため、図書館法第7条の3の規定に基づく運営の 状況に関する評価とあわせ、年度ごとに取組状況の評価を行い、進行管理する ものとします。

評価は、成果指標に加え各種統計、利用者アンケート等を活用し、3図書館による内部評価と図書館協議会委員による外部評価を実施します。

また、評価結果を市民に提供するとともに、この計画の事業等の推進に活用します。

なお、計画策定後の社会情勢、図書館を取り巻く環境の変化等に応じ、適宜、 計画の見直しを行っていきます。

※図書館法(昭和25年法律第118号)

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとと もに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ず るよう努めなければならない。

相模原市立図書館利用者アンケート 集計結果

I 利用者アンケートについて

1 調査の目的

「第2次相模原市図書館基本計画」の推進のため、利用者の皆様からご意見をいただき、今後の図書館運営や図書館サービスの向上に役立てることを目的に実施しました。

2 調査概要

調査対象	対象 概ね高校生以上の図書館及び図書室利用者				
	・来館(室)者にアンケート用紙を手渡しで配布し、				
調査方法	随時回収				
	・相模原市ホームページに、Web 回答フォームを設置				
調査期間 令和6年3月8日(金)~4月29日(月)					
	(1)各図書館				
	(市立図書館、相武台分館、相模大野図書館、				
	橋本図書館)				
	(2)公民館等図書室(6室)				
調査場所	· 【緑区】 津久井中央公民館、藤野中央公民館				
	· 【中央区】 横山公民館、清新公民館				
	· 【南区】 上鶴間公民館、大野台公民館				
	※公民館等図書室は、令和9年度までの計画期間内に、				
	1室2回程度実施				
	1,100 人				
同体学粉	・ 各図書館 521人				
回答者数	・ 各公民館等図書室 179人				
	・ Web 400 人				

Ⅱ 集計結果

- 1 集計結果を見る上での注意事項
- ・ 各表右下に、回答者数を記載しています。また、複数回答の設問については、回答 数もあわせて記載しています。
- ・ 回答分布は、回答者数を基数とした百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入 しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問の場合は、回答分布の百分率の合計は通常 100%を超えます。
- ・ 選択肢等の語句が長い場合、表中では一部省略して表現しているものがあります。
- ・ 各設問で、回答数が多い順に3項目を網掛けとしています。

2 集計結果

各設問の集計結果は、次のとおりです。

1 図書館や公民館等図書室のサービスについてお聞きします。

問1 あなたは、どのくらいの頻度で図書館や公民館等図書室を利用していますか。 (回答は1つ)

	選択肢	回答数	回答分布
1	ほぼ毎日	10	0.9%
2	週に 3~4 回程度	41	3.7%
3	週に 1~2 回程度	369	33.5%
4	2~3 週間に 1 回程度	514	46.7%
5	月に1回程度	86	7.8%
6	2~3 か月に 1 回程度	31	2.8%
7	年に 1~2 回程度	14	1.3%
8	初めて	3	0.3%
9	その他	9	0.8%
無回答		23	2.1%
合計		1,100	100.0%

回答者数=1,100

○利用頻度について、「4 2~3週間に1回程度」(46.7%)が最も多く、次いで「3 週に1~2回程度」(33.5%)、「5 月に1回程度」(7.8%)の順となりました。

問2 あなたは、図書館や公民館等図書室をどのような目的で利用していますか。 (回答はいくつでも)

	選択肢	回答数	回答分布
1	本を借りる・返す	1,062	96.5%
2	雑誌を借りる・返す	228	20.7%
3	CD・DVD 等を借りる・返す	185	16.8%
4	館内で図書を読む	241	21.9%
5	館内で雑誌を読む	195	17.7%
6	館内で新聞を読む	83	7.5%
7	館内で CD・DVD 等を視聴する	7	0.6%
8	館内で学習をする	76	6.9%
9	館内で仕事をする	11	1.0%
10	予約・リクエストをする	326	29.6%
11	調べものをする	145	13.2%
12	調べものの相談をする	24	2.2%
13	コピーサービスを利用する	14	1.3%
14	インターネットを利用する	25	2.3%
15	データベースを利用する	10	0.9%
16	イベント(講座やおはなし会など)に参加する	59	5.4%
17	テーマに沿った特集コーナーなど、本の展示を見る	61	5.5%
18	団体貸出で本を借りる	6	0.5%
19	図書館・公民館等図書室でボランティア活動をする	8	0.7%
20	図書館の貸室を利用して活動に使う	7	0.6%
21	その他	11	1.0%
無[回答	23	2.1%

※複数回答設問 回答数=2,807/回答者数=1,100

○利用目的について、「1 本を借りる・返す」(96.5%)が最も多く、 次いで「10 予約・リクエストをする」(29.6%)、「4 館内で図書を読む」(21.9%) の順となりました。 問3 **図書館の利用についてお聞きします。**あなたが主に利用している相模原市の図書館はどこですか。(回答は1つ)

	選択肢	回答数	回答分布
1	市立図書館(中央区鹿沼台)	246	22.4%
2	相模大野図書館	248	22.5%
3	橋本図書館	256	23.3%
4	相武台分館	118	10.7%
5	図書館は利用していない	149	13.5%
無回答		83	7.5%
合計		1,100	100.0%

回答者数=1,100

○本市図書館の利用状況について、「3 橋本図書館」(23.3%)が最も多く、次いで「2 相模大野図書館」(22.5%)、「1 市立図書館」(22.4%)の順となりました。

問4 **問3で1~4(図書館を利用している)と回答した方にお伺いします。**あなたは図書館の各サービスについて満足していますか。また、今後の図書館サービスにおいてどの程度重要だとお考えですか。あてはまる項目の数字に○をつけてください。

(満足度・重要度それぞれ回答は1つ)

【満足度(図書館)】

	選択肢	1 満足	2 やや満足	3 どちらとも	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無回答
回答項目				言えない				
1 本の品ぞろえ	回答数	135	404	116	134	57	16	6
	回答分布	15.6%	46.5%	13.4%	15.4%	6.6%	1.8%	0.7%
2 雑誌の品ぞろえ	回答数	81	209	215	70	29	207	57
	回答分布	9.3%	24.1%	24.8%	8.1%	3.3%	23.8%	6.6%
3 CD・DVD等の品ぞろえ	回答数	17	36	188	104	81	359	83
	回答分布	2.0%	4.1%	21.7%	12.0%	9.3%	41.4%	9.6%
4 相模原市の行政や地域	回答数	33	95	212	22	10	430	66
に関する資料の品ぞろえ	回答分布	3.8%	10.9%	24.4%	2.5%	1.2%	49.5%	7.6%
5 本等を予約してから	回答数	154	233	139	130	53	112	47
提供するまでの時間	回答分布	17.7%	26.8%	16.0%	15.0%	6.1%	12.9%	5.4%
C 27 101 CD 4771 1 120 T 1	回答数	142	277	173	97	27	85	67
6 資料の探しやすさ	回答分布	16.4%	31.9%	19.9%	11.2%	3.1%	9.8%	7.7%
7 館内の検索機の	回答数	165	226	162	75	34	149	57
使いやすさ	回答分布	19.0%	26.0%	18.7%	8.6%	3.9%	17.2%	6.6%
	回答数	361	288	115	16	6	56	26
8 職員の知識・対応	回答分布	41.6%	33.2%	13.2%	1.8%	0.7%	6.5%	3.0%
	回答数	452	223	69	60	30	8	26
9 図書館へのアクセス	回答分布	52.1%	25.7%	7.9%	6.9%	3.5%	0.9%	3.0%
10 図書館ホームページの	回答数	109	186	180	87	51	189	66
見やすさ	回答分布	12.6%	21.4%	20.7%	10.0%	5.9%	21.8%	7.6%
11 調べものの相談への	回答数	162	136	158	5	3	337	67
対応	回答分布	18.7%	15.7%	18.2%	0.6%	0.3%	38.8%	7.7%
12 データベースの	回答数	52	73	189	21	9	440	84
品ぞろえ	回答分布	6.0%	8.4%	21.8%	2.4%	1.0%	50.7%	9.7%
13 館内のインターネット	回答数	50	66	173	36	24	442	77
利用環境	回答分布	5.8%	7.6%	19.9%	4.1%	2.8%	50.9%	8.9%
14 大人向けの講座・	回答数	15	37	174	54	23	487	78
講演会等のイベント	回答分布	1.7%	4.3%	20.0%	6.2%	2.6%	56.1%	9.0%
	回答数	68	103	140	16	6	449	86
15 子どもへのサービス	回答分布	7.8%	11.9%	16.1%	1.8%	0.7%	51.7%	9.9%

			1	2	3	4	5	6	
		選択肢	満足	やや満足	どちらとも	やや不満	不満	わからない	無回答
	回答項目				言えない				
16	子育て世代への	回答数	56	103	143	21	13	446	86
	サービス	回答分布	6.5%	11.9%	16.5%	2.4%	1.5%	51.4%	9.9%
17	中・高校生世代への	回答数	26	56	152	30	7	508	89
	サービス	回答分布	3.0%	6.5%	17.5%	3.5%	0.8%	58.5%	10.3%
1.0	現役世代へのサービス	回答数	35	118	222	42	15	347	89
	究は同じのうして	回答分布	4.0%	13.6%	25.6%	4.8%	1.7%	40.0%	10.3%
19	シニア世代への	回答数	43	135	228	44	20	341	57
	サービス	回答分布	5.0%	15.6%	26.3%	5.1%	2.3%	39.3%	6.6%
20	障害のある方への	回答数	15	29	168	15	6	549	86
	サービス	回答分布	1.7%	3.3%	19.4%	1.7%	0.7%	63.2%	9.9%
21	外国人市民への	回答数	6	24	148	16	10	570	94
	サービス	回答分布	0.7%	2.8%	17.1%	1.8%	1.2%	65.7%	10.8%
22	図書館報の記事内容	回答数	31	74	193	16	7	458	89
	凶書昭報の記事内容	回答分布	3.6%	8.5%	22.2%	1.8%	0.8%	52.8%	10.3%

回答者数=868

○図書館サービスの満足度について、「満足」と「やや満足」の合計では、「9 図書館へのアクセス」(77.8%)が最も多く、次いで「8 職員の知識・対応」(74.8%)、「1 本の品ぞろえ」(62.1%)の順となりました。

また、「不満」と「やや不満」の合計では、「1 本の品ぞろえ」(22.0%)が最も多く、次いで「3 CD・DVD 等の品ぞろえ」(21.3%)、「5 本等を予約してから提供するまでの時間」(21.1%)、の順となりました。

【重要度(図書館)】

	回答項目	選択肢	1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 でない	5 重要ではな い	無回答
1	本の品ぞろえ	回答数	567	190	48	6	3	54
_	The state of the s	回答分布	65.3%	21.9%	5.5%	0.7%	0.3%	6.2%
2	雑誌の品ぞろえ	回答数	188	220	202	64	85	109
_	74BBB C 27C	回答分布	21.7%	25.3%	23.3%	7.4%	9.8%	12.6%
3	CD・DVD等の品ぞろえ	回答数	94	154	270	91	129	130
	CD DAD HONING CONC	回答分布	10.8%	17.7%	31.1%	10.5%	14.9%	15.0%
4	相模原市の行政や地域	回答数	119	174	267	71	112	125
	に関する資料の品ぞろえ	回答分布	13.7%	20.0%	30.8%	8.2%	12.9%	14.4%
5	本等を予約してから	回答数	261	309	139	39	21	99
	提供するまでの時間	回答分布	30.1%	35.6%	16.0%	4.5%	2.4%	11.4%
6	資料の探しやすさ	回答数	319	259	137	19	23	111
	真付の味しいりこ	回答分布	36.8%	29.8%	15.8%	2.2%	2.6%	12.8%
7	館内の検索機の	回答数	311	231	149	36	35	106
	使いやすさ	回答分布	35.8%	26.6%	17.2%	4.1%	4.0%	12.2%
8	職員の知識・対応	回答数	389	280	86	21	10	82
		回答分布	44.8%	32.3%	9.9%	2.4%	1.2%	9.4%
9	図書館へのアクセス	回答数	532	192	46	11	3	84
	囚目的、心力プラビス	回答分布	61.3%	22.1%	5.3%	1.3%	0.3%	9.7%
10	図書館ホームページの	回答数	295	225	165	29	37	117
	見やすさ	回答分布	34.0%	25.9%	19.0%	3.3%	4.3%	13.5%
11	調べものの相談への	回答数	264	219	189	32	49	115
	対応	回答分布	30.4%	25.2%	21.8%	3.7%	5.6%	13.2%
12	データベースの	回答数	159	169	285	30	83	142
	品ぞろえ	回答分布	18.3%	19.5%	32.8%	3.5%	9.6%	16.4%
13	館内のインターネット	回答数	165	171	256	54	88	134
	利用環境	回答分布	19.0%	19.7%	29.5%	6.2%	10.1%	15.4%
14	大人向けの講座・	回答数	78	162	309	70	114	135
	講演会等のイベント	回答分布	9.0%	18.7%	35.6%	8.1%	13.1%	15.6%
1 =	子どもへのサービス	回答数	227	182	218	24	80	137
13	, C 0, W, 9 - L A	回答分布	26.2%	21.0%	25.1%	2.8%	9.2%	15.8%

		1	4		2			
			1	2	3	4	5	
		選択肢	重要	やや重要	どちらとも	あまり重要	重要ではな	無回答
	回答項目				言えない	でない	い	
16	子育て世代への	回答数	258	173	203	20	78	136
	サービス	回答分布	29.7%	19.9%	23.4%	2.3%	9.0%	15.7%
17	中・高校生世代への	回答数	202	169	245	27	84	141
	サービス	回答分布	23.3%	19.5%	28.2%	3.1%	9.7%	16.2%
18	現役世代へのサービス	回答数	186	226	231	27	57	141
	SURE TO TOO LA	回答分布	21.4%	26.0%	26.6%	3.1%	6.6%	16.2%
19	シニア世代への	回答数	202	244	214	36	58	114
	サービス	回答分布	23.3%	28.1%	24.7%	4.1%	6.7%	13.1%
20	障害のある方への	回答数	259	194	209	15	54	137
	サービス	回答分布	29.8%	22.4%	24.1%	1.7%	6.2%	15.8%
21	外国人市民への	回答数	176	174	272	29	73	144
	サービス	回答分布	20.3%	20.0%	31.3%	3.3%	8.4%	16.6%
22	図書館報の記事内容	回答数	103	172	321	50	83	139
	디티시마카	回答分布	11.9%	19.8%	37.0%	5.8%	9.6%	16.0%

回答者数=868

○図書館サービスの重要度について、「重要」と「やや重要」の合計では、「1 本の品 ぞろえ」(87.2%)が最も多く、次いで「9 図書館へのアクセス」(83.4%)、「8 職員 の知識・対応」(77.1%)の順となりました。

また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計では、「3 CD・DVD 等の品ぞろえ」(25.4%)が最も多く、次いで「14 大人向けの講座・講演会等のイベント」(21.2%)、「4 相模原市の行政や地域に関する資料の品ぞろえ」(21.1%)、の順となりました。

問5 公民館等図書室(公民館や地域センター等にある図書室)の利用について伺い ます。 あなたが主に利用している相模原市の公民館等図書室はどこですか。 (回答はいくつでも)

	選択肢	回答数	回答分布
1	公民館図書室	438	39.8%
2	串川ひがし地域センター図書室	2	0.2%
3	青野原図書室	0	0.0%
4	総合学習センター図書室	0	0.0%
5	視覚障害者情報センター	0	0.0%
6	ソレイユさがみ情報コーナー	6	0.5%
7	公民館等図書室は利用していない	441	40.1%
無	回答	213	19.4%
合	計	1,100	100.0%

回答者数=1,100

○公民館等図書室の利用状況について、「7 公民館等図書室は利用していない」 (40.1%)が最も多く、次いで「1 公民館図書室」(39.8%)、「6 ソレイユさがみ情報コーナー」(0.5%)の順となりました。 問6 <u>問5で1~6(公民館等図書室を利用している)と回答した方にお伺いします。</u> あなたは公民館等図書室の各サービスについて満足していますか。また、今後の公民 館等図書室のサービスにおいてどの程度重要だとお考えですか。あてはまる項目の数 字に〇をつけてください。(満足度・重要度それぞれ回答は1つ)

【満足度(公民館等図書室)】

		選択肢	1 満足	2 やや満足	3 どちらとも	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無回答
	回答項目	XI) (IZ	洞足	(- (- //呵)人	言えない	(- (-· [-/]wj	- J - Almi	10/3 /2/401	
1	本の品ぞろえ	回答数	33	114	82	119	76	7	15
1	本の品でうん	回答分布	7.4%	25.6%	18.4%	26.7%	17.0%	1.6%	3.4%
2	本等を予約してから	回答数	73	122	80	55	28	56	32
	提供するまでの時間	回答分布	16.4%	27.4%	17.9%	12.3%	6.3%	12.6%	7.2%
3	館内の検索機の	回答数	47	86	94	19	16	138	46
	使いやすさ	回答分布	10.5%	19.3%	21.1%	4.3%	3.6%	30.9%	10.3%
4	公民館等図書室職員	回答数	262	105	43	6	1	9	20
	の対応	回答分布	58.7%	23.5%	9.6%	1.3%	0.2%	2.0%	4.5%
5	公民館等図書室への	回答数	237	128	38	5	11	4	23
	アクセス	回答分布	53.1%	28.7%	8.5%	1.1%	2.5%	0.9%	5.2%
6	図書館ホームページの	回答数	54	84	88	39	24	115	42
	見やすさ	回答分布	12.1%	18.8%	19.7%	8.7%	5.4%	25.8%	9.4%

回答者数=446

〇公民館等図書室のサービスの満足度について、「満足」と「やや満足」の合計では、「4 公民館等図書室職員の対応」(82.2%)が最も多く、次いで「5 公民館等図書室へのアクセス」(81.8%)、「2 本等を予約してから提供するまでの時間」(43.8%)の順となりました。

また、「不満」と「やや不満」の合計では、「1 本の品ぞろえ」(43.7%)が最も多く、次いで「2 本等を予約してから提供するまでの時間」(18.6%)、「6 図書館ホームページの見やすさ」(14.1%)の順となりました。

【重要度(公民館等図書室)】

			1	2	3	4	5	
		選択肢	重要	要重かか	どちらとも	あまり重要	重要ではな	無回答
	回答項目				言えない	でない	い	
1	本の品ぞろえ	回答数	166	135	58	30	3	54
		回答分布	37.2%	30.3%	13.0%	6.7%	0.7%	12.1%
2	本等を予約してから	回答数	133	140	74	23	9	67
	提供するまでの時間	回答分布	29.8%	31.4%	16.6%	5.2%	2.0%	15.0%
3	館内の検索機の	回答数	89	96	111	34	36	80
	使いやすさ	回答分布	20.0%	21.5%	24.9%	7.6%	8.1%	17.9%
4	公民館等図書室職員	回答数	198	134	50	3	3	58
	の対応	回答分布	44.4%	30.0%	11.2%	0.7%	0.7%	13.0%
5	公民館等図書室への	回答数	231	112	37	5	2	59
	アクセス	回答分布	51.8%	25.1%	8.3%	1.1%	0.4%	13.2%
6	図書館ホームページの	回答数	110	108	102	23	28	75
	見やすさ	回答分布	24.7%	24.2%	22.9%	5.2%	6.3%	16.8%

回答者数=446

○公民館等図書室のサービスの重要度について、「重要」と「やや重要」の合計では、「5 公民館等図書室へのアクセス」(76.9%)が最も多く、次いで「4 公民館等図書室職員の対応」(74.4%)、「1 本の品ぞろえ」(67.5%)の順となりました。また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計では、「3 館内の検索機の使いやすさ」(15.7%)が最も多く、次いで「6 図書館ホームページの見やすさ」(11.5%)、「1 本の品ぞろえ」(7.4%)、の順となりました。

問7 あなたは、図書館や公民館等図書室のサービスについて、総合的に満足していますか。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 満足	320	29.1%
2 やや満足	520	47.3%
3 どちらとも言えない	111	10.1%
4 やや不満	84	7.6%
5 不満	26	2.4%
無回答	39	3.5%
合計	1,100	100.0%

回答者数=1,100

○総合的な満足度について、「2 やや満足」(47.3%)が最も多く、次いで「1 満足」 (29.1%)、「3 どちらとも言えない」(10.1%)となりました。

また、「1 満足」と「2 やや満足」の割合の合計は、76.4%となり、「4 やや不満」と「5 不満」の割合の合計は 10.0%となりました。

問8 あなたの生活において、図書館や公民館等図書室の利用が役立っていると思う のはどのようなことですか。(回答はいくつでも)

	選択肢	回答数	回答分布
1	趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている	861	78.3%
2	家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている	598	54.4%
3	仕事に役立つ知識・情報が得られている	284	25.8%
4	学校での課題や宿題に役立つ知識・情報が 得られている	95	8.6%
5	地域の歴史や文化、行政情報などを知ることが できている	191	17.4%
6	個人や地域の課題解決支援に役立っている	100	9.1%
7	子どもが読書に親しみ、 生きる力を育む機会が得られている	292	26.5%
8	ゆっくりと余暇を過ごすことができている	377	34.3%
9	学びを通じた交流や学びの成果を生かす場がある	59	5.4%
10	地域において親しみやすい居場所となっている	243	22.1%
11	特になし	13	1.2%
12	と その他	47	4.3%
無	回答	50	4.5%

※複数回答設問 回答数=3,210/回答者数=1,100

○図書館や公民館等図書室の利用が役立っていると思うことについて、「1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」(78.3%)が最も多く、次いで「2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている」(54.4%)、「8 ゆっくりと余暇を過ごすことができている」(34.3%)の順となりました。

問9 あなたが、今後<u>図書館において</u>積極的に取り組んでほしいことは何ですか。 (回答はいくつでも)

	選択肢	回答数	回答分布
1 多種多様な資料の場	収集・提供	515	46.8%
2 快適な読書環境の	整備	407	37.0%
3 Wi-Fi 環境の整備		224	20.4%
4 飲食できるスペー	スの設置	190	17.3%
5 ICT を使いグルー 対応できるスペース	プ学習や話合いなど多様な活動に スの整備	41	3.7%
6 図書館・公民館等 行える場所の整備	図書室以外で、貸出や返却が	336	30.5%
7 図書館・公民館等向けた貸出サービス	図書室へ来るのが困難な方に スの検討	223	20.3%
8 子どもへのサービ	えの充実	219	19.9%
9 子育て世代へのサ	ービスの充実	198	18.0%
10 中・高校生世代	へのサービスの充実	155	14.1%
11 現役世代へのサー	ービスの充実	128	11.6%
12 シニア世代への	サービスの充実	309	28.1%
13 障害のある方へ(のサービス	158	14.4%
14 外国人市民への	サービス	114	10.4%
15 子どもの読書活動	動を支える人への支援	127	11.5%
16 IC タグを活用し	たサービスの導入	79	7.2%
17 調べものへの支持	爱	99	9.0%
18 情報活用能力向	上の支援	64	5.8%
19 地域資料の収集	・活用・提供	69	6.3%
20 講座や講演会の	充実	171	15.5%
21 世代間など多様	な交流の機会・場の提供	85	7.7%
22 特になし		47	4.3%
23 その他		83	7.5%
無回答		80	7.3%

※複数回答設問 回答数=4,121/回答者数=1,100

○今後図書館において積極的に取り組んでほしいことについて、「1 多種多様な資料の収集・提供」(46.8%)が最も多く、次いで「2 快適な読書環境の整備」(37.0%)、「6 図書館・公民館等図書室以外で、貸出や返却が行える場所の整備」(30.5%)の順となりました。

2 あなた自身についてお聞きします。

問 10 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 19 歳以下	26	2.4%
2 20~29 歳	24	2.2%
3 30~39 歳	93	8.5%
4 40~49 歳	160	14.5%
5 50~59 歳	175	15.9%
6 60~69 歳	225	20.5%
7 70 歳以上	351	31.9%
無回答	46	4.2%
合計	1,100	100.0%

回答者数=1,100

○回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問11 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

		1 - /	
	選択肢	回答数	回答分布
1	事業主	28	2.5%
2	自由業	22	2.0%
3	会社員、公務員、団体職員	217	19.7%
4	契約社員、派遣社員、	227	20.6%
1	ートタイマー、アルバイト		
5	家事専業	191	17.4%
6	学生	31	2.8%
7	無職	321	29.2%
8	その他	9	0.8%
無	回答	54	4.9%
合		1,100	100.0%

回答者数=1,100

○回答された方の職業は以上のとおりです。

問 12 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

	選択肢	回答数	回答分布
1	橋本地区	106	9.6%
2	大沢地区	15	1.4%
3	城山地区	14	1.3%
4	津久井地区	33	3.0%
5	相模湖地区	2	0.2%
6	藤野地区	66	6.0%
7	小山地区	15	1.4%
8	清新地区	50	4.5%
9	横山地区	26	2.4%
10	中央地区	107	9.7%
11	星が丘地区	17	1.5%
12	光が丘地区	26	2.4%
13	大野北地区	58	5.3%
14	田名地区	5	0.5%
15	上溝地区	16	1.5%
16	大野中地区	73	6.6%
17	大野南地区	192	17.5%
18	麻溝地区	15	1.4%
19	新磯地区	11	1.0%
20	相模台地区	26	2.4%
21	相武台地区	86	7.8%
22	東林地区	27	2.5%
23	神奈川県内	29	2.6%
24	神奈川県外	35	3.2%
無回答		50	4.5%

回答者数=1,100

○回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問 13 最後に、図書館や公民館等図書室のサービスに関して、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。

	選択肢	回答数	回答分布
1	サービスについて	196	36.0%
2	運営について	113	20.7%
3	資料について	205	37.6%
4	職員について	63	11.6%
5	施設・設備について	93	17.1%
6	その他	56	10.3%

※複数回答設問 回答数=726/回答者数=545

○図書館や公民館等図書室のサービスに関するご意見やご要望について、545 人の方から、726 件の回答がありました(お1人の回答に複数の観点がある場合、観点ごとに件数を計上)。

回答された内容について項目別に分類すると、「3 資料について」(37.6%)が最も多く、次いで「1 サービスについて」(36.0%)、「2 運営について」(20.7%)の順となりました。

問 13 の主なご意見・ご要望(各項目で件数が多かった内容から抜粋)

1 図書館サービスについて

①貸出・返却、②予約・リクエスト、③図書館システム、④図書館の事業に関する意見が多く寄せられました。

①貸出・返却

- ・ 貸出数・予約数を増やして欲しいです。
- 貸し出しの延長を電話でできるようにしてほしい。
- 貸出や返却(返却ポスト等)が行える場所が増えることを希望しています。
- ・ 駅に返却ポストが設置されたのはとても良いと思いました。場所的になかなか 返却期限に返せないので借りる事を諦めていましたが、借りる機会が増えまし た。
- ・ いつも利用させていただきありがとうございます。公民館図書館は「蔵書数が 少ない」「閉館時間が早い」などの理由で、滞在しての利用は少ないです。主にネ ットにて予約し、公民館図書館で受取、返却をする形で利用させて頂いていま す。雑誌、DVD 等もう少し充実して頂けるとありがたいです。公民館図書館でも 雑誌を借りられると嬉しいです。
- 公民館図書室への配送日を増やして欲しいです。

②予約・リクエスト

- ・ 予約が最大 10 冊では足りない。せめて 15 冊にしてほしい(それ以上ならなお良い)。新しい人気のある本は待ち時間が長すぎる。それで予約枠がいっぱいになり、シリーズ物などを予約するのが難しい。
- ・ 新刊の予約を web でできるようにして欲しい。
- ・ 予約リクエストしてから、資料提供までに時間がかかりすぎていると思いま す。他の自治体の図書館と比べて新刊が入るスピードが遅いと思います。
- ・ CD・DVD の予約不可であることが不満です。ほかの図書館(借りたい CD・DVD のある)へ出向く手段がほぼないので、大変だと思いますが(ケース、ディスクの管理など)何か条件を付加しても良いので予約取寄せができると助かります。よろしくお願いします。定期的に他館より厳選された CD・DVD が展示・貸出されていることは存じています。
- ・ 本をリクエストして借りているが、人気の本は半年以上待つ事がある。もう少 し本を増やしてほしい。リクエストできるものはとても良い。大いに利用したい と思っています。

③図書館システム

- ・ ホームページの改善希望。自宅からホームページで本の検索や予約をしているが、検索スピードが時々遅くなる。また、検索途中や、検索結果を確認している途中で頻繁にタイムアウトする為、最初から検索し直さなくてはならなくて困っている。図書館でも、「PC がかたまってしまったので、お待ち下さい」と言われることがよくある。
- ・ HP の資料検索で「で始まる」ではなく「を含む」がデフォルトになっているといいと思う。
- ・ 他の自治体のように自動貸し出し機を増やして欲しい。何を借りたかが印字されてよい。
- ・ よく、ホームページから検索を行います。複数冊まとめて予約しようと予約か ごに入れておいたものが、次のページを開くうちに消えてしまうことがありま す。また、一度ログインしたにも関わらず、同様に次のページを開くうちにログ イン状態が消えてしまい、再ログインを求められることもあります。これらの現 象は検索時にほぼ毎回起こるので、使いにくいです。改良していただけると助か ります。

④図書館の事業

- ・ 幼稚園生の子どもと一緒に利用しています。水曜午前中におはなし会があるのですが、通園しているため参加できません。土曜午後のおはなし会はありがたいですが、土日は出かけていることもあるため、平日にも午後のおはなし会があると助かります。
- ・ 公民館図書室でも「おはなし会」があったら嬉しいです。
- 食品、食生活に関する講演会など学ぶ場を提供して欲しい。
- ・ 本の修理、製本の知識の講座の開催

2 運営について

①図書館や図書室の運営や役割、②相武台分館の今後のあり方、③開館時間・休館日に関する意見が多く寄せられました。

①図書館や図書室の運営や役割

- ・ 近隣の市、大和や海老名の図書館のようなカフェと併設されている等、次世代 へ向けた工夫のある図書館を望みます。新しいコミュニティなど、市民が関われ る企画があると良いです。学生ボランティアの活動の場を作るというのもあった ら良いです。
- ・ いつも、公民館図書室や相模大野図書館を利用させていただいております。他 市の図書館を利用することもあるのですが、相模原市の図書館・図書室は、本棚 が見やすく、探しやすいなと感じています。また、静かだけれど堅苦しくない、 居心地の良さを感じます(きっと、職員さんの雰囲気がいいのだと思います)。市 内の図書館から取り寄せてもらえることで、大体の希望する本も借りることがで きますし、これからもお世話になると思いますので、このいい雰囲気が保たれる と嬉しいです。
- ・ 在住地域から直接の利用は公民館図書室となります。相模原市は地域特性が都市部〜山間部までと巾広く、サービス対象の特性もそれに応じることとなり、運営の在り方を決めるのが難しいかと思うのですが、地域間の特性を活かした運営が行われると良いと思っています。利用者の状況を完全に把握するのは非常に難しいですが、山間部の利用者ニーズをどの程度くみとられているのかと思う点があります。他地域連携による利用者ニーズ把握という点です。連携は必要であり、重要なサービスの1つなのですが、他地域館でどのような資料を借りたのかなど把握が難しい分山間部地域の利用者がつかみきれず、サービスに反映しづらい点があると思います。そのため、本当は利用したい人達がいるにもかかわらず、他地域館の利用が常態化してしまい、ニーズを把握しきれず運営に反映できず、利用者はそのまま変わらず・・・という悪循環になっていないだろうかと感じます。資料の風通しと、地域課題関連や図書室イベントなど、楽しい計画と共に地域でつくる図書室として利用者に呼びかけられると良いなと思っています。
- ・ 個人的には今のままでも問題無いが、多種多様な人々の使いやすい図書館を目 指してもらえれば嬉しく思います。
- 図書館や公民館等図書室はこれからもずっとのこしてほしいと思います。

②相武台分館のあり方

- ・ 相武台分館図書館をよく利用しています。これから赤ちゃんが産まれるので絵本が充実していてとても助かっています。無くなるかもしれないと伺いましたが、家からの距離も近く絵本も充実しているのでどうか無くならないで欲しいです。お年寄りや子どももたくさん利用しているように見えますのでいつまでも相武台分館があり続けますように。
- ・ 相武台分館がなくなるいといううわさを耳にしました。子供が小さなころから 毎日のように絵本を借りに行っていたので、とても本が大好きな子になりまし た。今も親子でたくさんの本を借りています。相武台分館は小さな図書館です が、地域住民にはなくてはならない場所だと思います。"そあら"に移転するな

ど、様々な案を考えていただけると嬉しいです。この地区から図書館をなくさないでください。

・ 雨の日でも利用しやすいように駐車場もしくは駐車スペースがあると助かります。

相武台分館をよく利用するので閉館しないでほしいです。建て替えや移設(こどもセンターやまちづくりセンター近くなど)してもらえたら嬉しく思います。

- ・ 相武台分館を利用しています。職員さんの対応はとても良いです。行財政改革 プランにより、数年後の図書館分館の廃館が決まり、図書室機能を無くさず別の 所に移転される事になっているようですが、現在の立地条件(新磯野公園隣接・ 交番が近い・相武台地域の中心地等)が適切と思います。建物の修理をしながら 使い、将来は3階などに建て直し出来ないでしょうか?
- ・ 相武台図書館の存続の検討をぜひお願いいたします。同意見の方が多数いらっしゃることと思います。以前、子供、孫が絵本をたくさんお借りし、私自身も図書館を利用させていただいております。

③開館時間・休館日

- 全ての図書館が一斉に休む日を無くして欲しい。
- ・ 橋本図書館を利用しているが、日曜日の閉館時間をもう少し遅くしてほしい。
- ・ 相武台分館を利用しています。社会人、学生は平日の 17 時までに本の貸し出し や予約の本の受け取りが難しいです。週 2 日程度でも構わないので閉館時間を 18 時(もしくは 17 時 30 分)に延長してもらえると利用者も増えるのではないでし ょうか。
- ・ スタッフの皆さんとても親切で分かりやすい言葉で対応して下さいます。とて も感謝しております。開館時間、もう少し早くしていただけるとうれしいです。 これからも沢山本を読みたいと思っています。

3 資料について

①図書(本・雑誌)の充実、②資料の管理、③視聴覚資料の充実、④展示等による資料の紹介、⑤書架や配架の状況に関する意見が多く寄せられました。

①図書(本・雑誌)の充実

- ・ 市の規模(市民数)に対して、蔵書が少ないと思う。市の予算が少ないのだろうが、もっと本を増やしてほしい。
- ・ 蔵書について

読みたい本が相模原の図書館になく、近隣の図書館(町田、大和など)や都内の公立図書館(文京区、千代田区、世田谷区)まで赴かないといけないことが多くある。県立図書館などからとりよせるにしても、時間がかかり、公民館等図書室で受けとることができないので不便である。最良なのは、リクエストすれば確実に市の蔵書として借りることができるということだが、それが予算上無理だとしても、市外の蔵書を公民館図書室ですぐ(2~3日程度)借りたり返却できるようにして欲しい。歴史や社会科学に関する蔵書の充実を切に望む。

- ・ 公民館図書室の本が古く、品薄です。絵本は子どもが手に取った時に、色あせていない物を(種類や発行年も)揃えてあげてほしいです。予算が少ないからでしょうか。図書館も、これでは…と思う本を結構目にしますが図書室の本は貧しさを感じます。大人の趣味の本も更新してほしいが、まず、子どもたちの本を身近な図書室で充実させて、ワクワク感の持てる場所であってほしいと思います。
- ・ 専門書を増やして欲しい。図書館より遠い図書室なので、自館にあれば助か る。
- ・ ベストセラー本等は一般の書店に任せ、図書館は資料価値の高い本や、中々個 人で手に入れるのが難しい図書の充実に資源と人財を投入してほしい

②資料の管理

- ・ 全図書館に言えることですが、人気作家の新刊本をたくさん購入しすぎです。 予約数を見ると、それを求めている市民がいるからということは理解しますが、 しばらくすると同じ本ばかり所蔵することになり、スペースの無駄になります。 書店ではないので、もっと図書館本来の役割を考えてください。
- ・ いつもありがとうございます。本の選定の確かさを実感しています。
- ・ 古い資料が多い…褐色化した本、字がとても小さい本などは、絶版になっていて資料として保存する価値はあると思うが、それらは書庫で保存し、新しい版を利用者に提供して欲しい。綺麗で読みやすい本の方が利用者にとってとても嬉しく、図書館の利用が幅広い世代で上がると思う。
- ・ 単行本の新刊が少ないように思います。また、本の汚損が散見され、貸し出し 時の注意喚起を徹底して頂きたい。
- ・本の寄付について、前に検討していて問い合わせたら「販売から3年以内?5年以内?」とか決まりが結構面倒だなと思った。こっちは図書館で扱ってないから買ったのに。その本を寄付したら、いつでも読みたい時に読めると思って寄付を検討したら、色々言われて面倒になってしまった。市の蔵書でない本で、ある程度状態が良いなら受け付けてくれたら無料で蔵書が増えて良さそうだと思うけど… 管理が大変とか、色々あるのかな? 最寄りの公民館の蔵書は少ないので、そういう所に行き渡ったらいいなと思う。

③視聴覚資料の充実

- ・ 相模原市が図書や CD、DVD に力を入れてくれるようになるといい。 10 年前までずっと府中市に住んでいた。府中市の図書館は本の数、CD の数が多く、子供が幼いときは"青い鳥"という移動図書館もあった。子供達は子育て中だがやはり本が好き。ねるまえの読み聞かせも。図書館はその街が文化に力を入れているかどうかのバロメーターになると思う。効率重視の世の中、図書館はオアシスです。
- ・ いつも利用させていただいています。視聴覚資料(DVD や CD)がもっと充実した ら良いと思います。また、返却ボックスが駅にあったら便利で良いと思います。
- ・ 音楽 CD の新作を聴きたいので早めに入荷してほしい。音楽 CD の入荷リクエストを受け付けてほしい。音楽 CD の寄付も受け入れたほうが良いと思います。
- ・ DVD・VHS 共に古いものばかりでガッカリしました。初めて DVD を借りました がシステムは非常に良くありがたいので、もう少し新しい品があれば良いのです が、宜しくお願いします。

④展示等による資料の紹介

- ・ 絵本のコーナーの入り口の展示は、行くたびに毎回変わっていて楽しいです。 そこから右にいったところの表紙が見えるように置ける本棚などに、年齢別のお すすめ絵本を置いて頂けると、小さい子どもでも探しやすく、親しみやすい本を 見つけやすいのではないかと思います!カテゴリーや作者名から絵本を探せるよ うになるまでの幼児は、表紙で選ぶので、そのスペースを有効活用し、できれば 増やしてほしいです!
- ・ 図書室スタッフの方が皆さん優しく親切に対応してくださり、心地よい場所です。
 - 希望としては、ホームページ上で図書室にある本の一覧が見られると便利だと思います。
- ・ 福袋が非常に楽しめました。中身がわからないので却って先入観なく読み始めることができたのが良かったです。司書さんのおすすめの本をこういう形でまた読んでみたいと思いました。
- ・ 津久井中央公民館図書室は、特集(設?)コーナーのようなものがあり、司書 さん?おすすめの本を楽しむことができて、よい仕組みだと思います。

⑤書架や配架の状況

- 本棚で絵本探しに苦労します、職員に聞くしかないのでしょうか?
- ・ CD の収納棚の分類が分かりづらい。
- ・ 私は随筆類の利用が多いので、「小説」と「随筆」とを仕分けていただけると助 かります。
- ・ 公民館図書室の面積の拡充。(もっと本を置いてほしい)←コロナ禍でテーブル を長く使えないようになったので、いっそなくして、その分本棚を置いてほし い。

4 職員について

①職員の対応に関する意見が多く寄せられました。

①職員の対応

- ・ スマホ、パソコンに慣れず(不得意で)登録や予約などに手間取り困ってしまった。年配者にはパソコンでの操作は難しいので、手がすいている職員さんに代行して頂きたかったです。
- ・ 図書館は基本的には静かな場所であって欲しい。過剰なサービス(挨拶など) は不要と思う。また、業務に関わることであっても、職員同士の会話は、小さい 声でお願いしたい。
- ・ 普段、市立図書館(鹿沼台)を未就学児とともに子どもの絵本を目的に利用しています。鹿沼公園の隣という好立地にとても助かっています。

また、子どもとともに利用する際、図書館のスタッフの方々が子どもに対しても人として対等に受け答えしてくれることが有り難いです。具体的には、貸出カウンターで子どもが「お願います」等と自分で声掛けした時に子どもの目を見て話してくれるなど。当たり前のことのでも、子連れだと正直ひどい対応をされることも多いので…安心して利用できます。お忙しいなか有難うございます。

- ・ いつも調べ物の相談にのっていただきましてありがとうございます。毎回どん な質問にもていねいに答えていただきまして、感謝しております。
- ・ 具体的に探している本がある時しか調べものカウンターを利用したことがありません。調べものの相談もしてみたいですが、どのような相談に応えてもらえるのか分かりません。利用したことがないせいかもしれませんが、少し話しかけづらく感じています。

5 施設・設備について

①利用スペース、②施設全般、③設備、④立地・アクセスに関する意見が多く寄せられました。

①利用スペース

- 0歳~2歳の乳幼児向けのお話会や親向けの本の読み聞かせ指導の講座などを子どもが声を出してもよい環境で開催してほしい。中央図書館はよく利用するが、子供の本コーナーはとても静かな環境なので発声の自制が難しい乳幼児を連れては行きにくい。
- ・ 子どもが座って本を読めるところはあるが、子供専用なので、大人は一緒に読書できない。かと言って、靴を脱いで上がれる、絵本コーナーに行くと、読み聞かせをしている親子の声が気になって、大人は本を読めない。静かに読みたい親子スペースもあったらいいなと思う。
- ・ 部屋でなくても、読書や勉強ができる机があるスペースが増えると嬉しいです。
- ・ 勉強スペースがなく、席が少ない。友人と図書館で勉強すると計画しても場所 がなかったので、そのような環境整備を希望します(空き部屋開放するなど自由 に)。
- ・ 時には長時間調べ物をしたいので、飲食できる場も作ってほしい。今の雰囲気では水を飲むこともできない。(一回外に出て水を飲んでいます。)

②施設全般

- ・ 入りやすい間口にしてほしい。特に大野図書館はエレベーターがどこにあるか 見えにくい。階段しか見えない。
- ・ いつもなんとなく空気がこもっていて暑いなと思っています。もう少し空気が よくなるといいです。
- ・ 磁気ゲートの借りている本をまちがえるのをなんとかして下さい。
- ・ 市立図書館の建て直し 地域のいこいの場となるように、明るく、子供から大人まで、居心地の良い空間作りをしてほしい。近くに公園などもあるが、館内から外の自然を感じられるような…
- ・ 相武台分館をいつも利用している者です。建物は古いですがトイレなどはいつ もきれいに掃除がしてあり、気持ち良く利用できます。

③設備

- 貸出しカウンター付近に荷物出入用のテーブルを複数、設置して欲しい。
- ・ 雨の日の傘用ビニール袋がもったいない。雫取りのような、環境に配慮したも のに変えた方が良いと思う。

- ・ 赤ちゃんや子供が使いやすいようなトイレが欲しい。綺麗にするとかベビーベッドを3階にもつけるとか。4階は勉強している若者が多目的トイレを使っていて待つことがある。子供専用または優先するよう大きくわかり易く表示してほしい。
- 本を読むにはイスが座りにくいので背もたれあるイスを増やしてほしい。

④立地・アクセス

- ・ 相模大野図書館のアクセスが悪い。駅から回り道しないといけない。どうして このような事態になったのか。
- 歩いて行ける距離に図書館があるので、とても助かります。
- ・ 利用している図書館や公民館図書室の職員が皆さん親切に対応してくれて助かっています。ただ、大きな図書館への利用が大変なこともあるので、もう少しアクセスしやすさがあればと思っています。
- ・ 自宅から徒歩で行ける図書室が複数あり、とても助かっています。今後もキメ 細かいサービス網を維持していただきたいと思います。

6 その他

利用者ご自身の利用状況等についてのご意見をいただきました。

- ・ 多種多様な本を読み、知識を深めることを楽しめるようになったのは図書館に 通う習慣が幼い頃から身に付いていたことや、司書の方に優しく接していただい た経験が大きいと感じています。本当にありがとうございました。今後も引き続 き利用したいと考えているので、よろしくお願いします。
- いつもありがとうございます。子供達が多くの本に触れられて心より感謝致しております。
- ・ 趣味や生活に役立つ情報が得られ大変満足しております。これからもよろしく お願いします。
- ・ 退職後公民館の図書室に出会い係の人に色々教えて頂きながら利用しています (リクエストのやり方、メールの返事受取などなど)。公民館が歩いて行けるキョ リにあり、うれしいです。これからもよろしく。

3 各委員の意見

(1)内部評価(成果指標)について

- ・ コロナ禍を経て、図書館利用も徐々に回復しつつあることが確認されました。その 要因は図書館がいくつかのサービスを再開したり、新たな取り組みを始めたりしたこ となどが推察されますし、アンケート調査における職員に対する評価からも窺われま す。引き続き、図書館サービスの向上に努めていただけたらと思います。
- · コロナ禍が収まり、どの館も利用がもどっていることに評価できる。
- ・ 評価基準値に満たなかったが、前年比を見るとどの項目においても数値的には上昇 していることは評価できる。コロナ禍以前の数値に及ばない一般向け講座・講演会等 の参加者数については、個人の端末でいつでも自由に自分の興味関心を引くものを調 べることができるようになった昨今、評価基準値を望むためには、より価値あるもの を企画していかないと数値の上昇には繋がらないと思われる。
- ・ (前年と比較し) 『第2次相模原市図書館基本計画』「第6章 計画の推進」に向けて(1.成果指標)」、目標数値まであと少し、もう一歩というものが目立ち、何があと一歩必要、不足しているのかという検討が必要。
- ・ 昨年度と同様、成果指標 10 項目のうち、達成できた項目が 1 つであることが憂慮されます。中でも、「市民登録率」と「18 歳以下の子どもの登録率」の低さが目立って大きな課題です。前者が 17.3%ということは、図書館の利用者は 5 人に 1 人にも満たないことを意味しますし、すべての人がアクティブ利用者とも言えません。再登録しない人が一定数いる点は、転居などの要因が含まれますが、図書館利用から離れたことも想像されます。後者の子どもの登録率とともに、地道な改善が必要であると考えます。
- ・ 「市民登録率」等は、市域の多くをカバーする公民館図書室の運営にも大きく依存します。身近に図書館があることへの満足の声が聞かれる一方、資料の古さや少なさ、 入手までに時間がかかることなどの意見も聞かれました。図書館は配送システムの改善などに取り組んでいますが、引き続き改善に向けた努力を期待します。
- ・ 利用者に関する統計において、登録者の有効期限切れによる減少が多いとのことなので、継続的に図書館へ足を運ぶようになる、図書館の魅力作りが大切。 (※有効期限が近づくと、図書館より何かお知らせは届くのだろうか?)
- ・ 7~18歳の年代の登録者数が減少しているのは残念である。忙しい中、自分の時間 を図書利用に向かわせるような魅力を伝えていきたい。一般向け講座等を小・中・高 校生に企画させてみたら面白いかもしれない。
- ・「18歳以下の子どもの登録率の減少」は深刻な課題として受け止めたい。一方で「市人口が維持されている」表記はあるが、この 18歳以下の人口はどう推移しているのだろうか

- · 若い人たちの登録率が減少したことについては課題である。
- ・ 利用者の満足度を上げるものとして、蔵書の豊富さ、子育てや健康をテーマにした 展示、ワークショップ、ゲームなどの取組等、利用者の興味関心を引くものの提供が あったと感じる。図書館=本を借りる、本に親しむところのみならず、娯楽や趣味に 役立つ情報を得られる場、ゆっくりと余暇を楽しめる場になっていくことが利用者数 や満足度につながると言える。
- ・ 満足度の微減が見られるが、これは何に起因すると思われるか。利用者・貸出冊数 の年齢(世代)別の統計が必要では?
- ・ 様々な取り組みを行い、来館者が増加したことは評価できる。またレファレンスの 受付件数の増加も職員の取り組みの成果であり評価できる。
- ・ コロナ以前には及ばないものの、一般向け講座・講演会の参加人数が増加したこと は評価できる。特に橋本図書館は「大活字本をご存じですか」等意欲的な企画がみられる。
- ・ 市立図書館のレファレンスの受付件数が、令和9年度の目標値の6割程度の達成率 に留まっている点が課題である。カウンターに座って待つだけでなく、利用者への積 極的なアプローチを検討して頂きたい。
- 「レファレンスサービス」とは何かという利用者への周知徹底が必要では?知らない人もたくさんいると思う。
- ・ 「10 『読書は好きですか』という質問に・・・・」、このアンケートは有効だろうか。本という対象を「好きか嫌いか」の二律背反で捉えさせるよりも、「あなたにとってどのような時に本が必要になりますか」などの設問の方が、ニーズの掘り起こしになるのではないか。

(2) 内部評価(施策の取組状況) について

- ・ 基本目標4の(1)主な施策のうち、「資料の収集・保管の統括及び本市図書館全体 を捉えた資料構築」が未実施(×)の点が課題である。
- ・ 昨年度から開始された電子書籍サービスが子どもたちの学習活動に寄与していることが利用状況からも確認され、高く評価できます。他方、各館のデータベースサービスの利用は同等、もしくは減少傾向にあります。市民の生涯学習を支えるサービスとしてその展開を検討してもらえたらと思います。
- ・ 図書館サービスの基本は蔵書構築とその利用展開ですが、蔵書回転率が 1.5 回にと どまるなど、決して高いとは言えません。他方、イベントにあわせて展示を行うこと で資料の利用を活性化する取り組みは高く評価できます。

- ・ 継続して検討してきた「中央図書館機能基本方針」を策定できたことは高く評価できます。現在、淵野辺駅南口地区の再開発にあわせて、新図書館の構想も検討されており、中央図書館機能の実現が大きな柱の1つになっています。しかし、それを待つことなく、実験的でもよいので、できるところから始め、改善を加えていってもらえたらと思います。
- ・ 図書館の発展、充実に向けて、司書専門職の採用試験を実施したことは高く評価できます。他方、市立図書館の司書有資格者が1名減となっています。適切な配置を行うとともに、専門職である司書有資格者の全体の比率を高めることが肝要であると考えます。
- ・ 市内でも中心地から遠い場所では、なかなか図書館利用が少ない現状にある。近隣の保育園では、「くるくる図書館」がとても重宝されている。登園、降園の際に、親子で本について話をする姿もあると近隣の園の職員さんから伺った。このようなアウトリーチ活動も今後期待したい。また、そこでの利用者を数にいれると、利用者数の実質はもっと伸びるのではないかと感じた。

学校教育でもより多くの本を子どもたちが手にしてほしいと願っているが、予算が限られている。新刊本など、くるくる図書館を学校教育にも拡充していただけないかと思う。

- 次世代の子供たちに対する、「くるくるとしょかん」は本に親しんでもらうために、 とても良い取組だと思う。
- ・「くるくるとしょかん」の実施は、素晴らしいと思える。一方で毎年廃棄しなければならない児童書もあろうかと思われるが、それらの本を関連施設や小学校に寄贈することもよいのでは?
- ・ 相模大野駅前に返却ポストを設置していたことは、利用者にとって有意義なものだったと思う。しかし、返却=貸出の流れを止めてしまうのではないかとの懸念もある。 学校教育との連携の部分では、夏休みの課題にもなる「全国青少年読書感想文」について、図書館司書から子どもたちが興味を持って読めるような本の紹介講座や、実際に読書感想文の書き方などをレクチャーしていただき、個別に相談にものっていただくような講座があると良いのではないか考える。

合わせて学校図書館協議会との連携も視野に入れていただけるとありがたく思う。

- ・ 相模大野図書館の相模大野駅前に図書返却ポストを設置した取組について、市民からの要望に応えた点が評価できる。
- ・ 子どもが読書に親しむために読み聞かせとお話し会の開催で参加者が増えたことは 評価できる。

(3)内部評価(基本統計の検証)について

· 蔵書利用に関して、「現在の利用状況を分析しニーズを把握することに加え、未利用 者も含め広く市民や地域のニーズを掘り起こすような蔵書構築を行う必要がある。」 と図書館が評価していますが、そのとおりであると思います。一方、それをどのように実施するか、実現するかに関して言及がありませんでした。今後の図書館サービス計画の中で検討してもらいたいと思います。

- ・ 視聴覚資料が減少しているがニーズも少ないようである。今までの在り方は役割を 終えたと思う。大胆な改革を求めたい。
- ・ 政令指定都市であるが、図書館の図書購入予算が前年の44.2%にとどまっていることを残念に思う。教育的、生涯学習の観点から、普通は年々増加するものだと思う。
- ・ CD 等の視聴覚資料の予約取り置きサービスが行われていないことに驚いた。

(4) 各図書館による自己評価について

■市立図書館

- 市立図書館の「相模原市の魅力再発見」の取り組みはよいと思う。
- ・ 市立図書館の子育て世代への情報支援の拡充及び利用促進を図る取組は、利用の向 上も見られ、子育てするなら相模原と思っていただける良い取組だと思う。
- ・ 18 歳以下の子どもの登録数が前年に比べて、やや下回っていることが心配。少子化の影響か。本を手に取る・自分で「購入する」機会が激減している状況こそ、図書館で手に取る"借りる"機会を保障したい。
 - 一方で、「子ども・子育て世代に身近な居場所としての役割を十分に果たし」「子ども・子育て世代を中心とした児童書の利用が維持されている」実情は称賛に値する。

■相模大野図書館

- ・ 蔵書のうち、地域資料の保存にかかる狭隘化が問題となっていると記されています。 相模大野図書館では重複資料の廃棄も行われたとのことでした。市図書館全体として 地域資料の扱いを適切かつ丁寧に行う必要があると思います。
- ・ 相模大野図書館の入館に関する物理的な課題は、難しいが解決したい課題である。
- ・ 「こどもとしょかんまつり」のようなものが、世代、対象別に「図書館まつり」が あれば、参加したい。
- ・ 「サタデーおはなし会」や「親子で遊ぼう!わらべうた会」、「絵本で子育てワーク ショップ」などへの並々ならぬ工夫と努力に脱帽する。

■橋本図書館

- ・ 若い世代より、高齢者の方が利用が増え、イベントについても年齢の近いスタッフ が担当したころについては評価できる。
- ・橋本図書館の地域との連携事業は今後も続けてほしい。
- ・ 「書庫に潜入! 昭和のお宝本!」というシニアのためのゆるっと講座を一般の世

代向けにも開催してほしい。すごく気になる。

- ・ 「大活字本をご存じですか!」(ロビープチ展示) この存在を知れば読書がしやす くなると思う。読みやすいので、本に対して苦手意識があっても敷居が低くなる。
- ・ 相模大野同様、様々な取り組みに努められていることに脱帽する。「調べるっておも しろい!夏休み自由研究応援!・・・・」は、夏休み後半に憂鬱や自殺を考える児童 への居場所作りに一役買うのではないかと思われる。今後も大いに期待。

(5) その他(全体に関する意見等)

- ・ 利用者アンケートにおいて、システムの不具合に関する意見が複数寄せられていま す。早急な改善を希望します。
- ・ 一番の課題である蔵書の充実がかなわない中、関係者の皆様がよく頑張られている と感じる。
- ・ 図書館基本計画について読み込みましたが、読めば読むほど先のことで自分の考え 方が未来に合うのか不安になりました。シンプルに図書館の良さがあります。いろい ろな方が集まり相模原市が目指す図書館の理想像が果たしてどなたの方に受け入れら れるのかと思います。生涯の中で1番学習する年代はいつだったかな?など自分を振 り返りました。連れていかれるのではなくて、自主的に利用する方へ対象をフォーカ スしていくなど実際に限られた敷地で予算もあります。自身も活動で助成金を取るた めに申請書を作りますから構想案は万人に受け盛り込むのは理想です。障害者や子育 て世代には図書館だけではなくたくさん利用する場所があります。公共の施設に優し い配慮が設置で十分と思います。図書館の役割を果たすことにプラス必要なものが何 かを大事に考える場にいることを改めて貴重な責務を実感致しました。
- ・ 人とまちの未来を育む図書館について 図書の役割について蔵書の取り扱い・利用の促進・受け取りや返却の仕方の課題の 根拠が知りたい。図書サービスは追及をどこまですることがよいのか?
- ・ 館内で CD、DVD 等が視聴できるのは有難い。知らなかったので活用したい。
- 利用者として、図書館へ行く際にも感じるが、本をよむ館内の椅子が背もたれのないものがあるので、体に負担のないものを希望する意見には、実感として賛同する。
- ・ 図書館の検索端末がタブレット化し、小型になったことが慣れない。パソコン端末 のようなものが、併用して設置されていると使いやすい。
- ・ 図書館職員が、幼い子どもに対しても大人と同じように一利用者としてきちんと対応しているというコメントが良い接客だなぁと思った。
- ・ 本の貸出期限が短く思う(3週間程度になり、電話延長可だとより便利)
- ・ 図書館利用頻度が高い人は、利用すること自体が生活サイクルの中に組み込まれているように感じた。(2~3週間に1回の率高い)(→貸出・返却サイクルに近いため)

- ・ 図書館員への負担は増えるが、返却ポスト設置数の増加を望む。
- ・ 図書館に対する利用者の視点からの重要度は、物理的な近さと感じる。<本のしなぞろえ、資料の探しやすさ、職員の知識・対応、図書館へのアクセス>
- ・ 図書館は、地域の歴史・文化・行政情報が知れるという特色、強みがある。
- ・ 図書館福袋はすごく面白そうだと興味がわいた。